

平成19年5月16日（水）

## 平成17年国民健康・栄養調査 結果の概要について（発表）

（配布資料）

- 平成17年国民健康・栄養調査結果の概要について
- 平成17年国民健康・栄養調査結果の概要  
（平成18年国民健康・栄養調査「速報」を含む）

## 平成17年 国民健康・栄養調査結果の概要について

### 子どもの体型及び生活習慣について

- (1) 体型の状況を年次推移で見ると、男女共に「普通」の者の割合が減少傾向 (p. 3)  
体型の状況を年次推移で見ると、「普通」の者の比率が男子は昭和63年の64.0%から平成17年の57.0%と7ポイント減少し、女子は昭和63年の62.1%から平成17年の56.6%と5.5ポイント減少していた。
- (2) 朝食を「子どもだけで食べる」と回答した者の割合は増加傾向 (p. 6)  
ふだん、子どもが朝食を誰と一緒に食べるかについて、「子どもだけで食べる」と回答した者の比率は、小中学生共に増加傾向であり、平成17年には小学生においても40%を超えていた。
- (3) 夕食を19時以降に食べる子どもの割合は増加傾向。特に、20時以降に食べる子どもは、平成5年と比べて5.4ポイント増加 (p. 6)  
ふだん、子どもが夕食を何時に食べるかについて、「19時以降」と回答した者の比率は増加傾向であり、特に「20時以降」は、平成5年の1.7%から平成17年の7.1%と、5.4ポイント増加していた。

### メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の状況について

- 40～74歳で見ると、男性の2人に1人、女性の5人に1人が、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）が強く疑われる者又は予備群と考えられる者 (p. 9)
- 40～74歳で見ると、強く疑われる者の比率は、男性25.5%、女性10.3%、予備群と考えられる者の比率は、男性25.0%、女性9.5%であり、40～74歳男性の2人に1人、女性の5人に1人が、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）が強く疑われる者又は予備群と考えられる者であった。

### 飲酒の状況について

- (1) 初めて飲酒したきっかけは、男女共に約6割が周囲からの勧め (p. 15)  
「初めて飲酒したきっかけ」について、「先輩、上司等の日上の人に勧められたから」、「友人に勧められたから」、「親、親類等から勧められたから」を合わせると、男女共に各年代において、約60～70%であった。
- (2) 未成年者について「全く飲酒すべきではない」と回答した者の割合は、男性で約8割、女性で約9割 (p. 16)  
「車を運転する前または運転中」に「全く飲酒すべきではない」と回答しなかった者の比率は、男性1.6%、女性1.4%であった。同じく、「妊婦・授乳婦」に対しては、男性で約20%、女性で約15%であった。

### 喫煙の状況について

- 喫煙率は男女共に平成16年に比べ低下し、男性は4割を下回った (p. 17)
- 喫煙率の年次推移を見ると、男女共に平成16年に比べ低下し、男性39.3%、女性11.3%であった。

### 栄養素摂取の状況について

- エネルギー摂取量の平均値は、男女共に漸減傾向。脂肪からのエネルギー摂取が30%以上の者の割合は、成人の男性で約2割、女性で約3割 (p. 18)
- 脂肪からのエネルギー摂取が30%以上の者は、成人の男性で18.1%、女性で26.6%であり、年次推移で見ると、30%以上の者の比率が漸増していた。

# 平成 1 7 年

## 国民健康・栄養調査結果の概要

(平成 1 8 年国民健康・栄養調査「速報」を含む)

健康局総務課生活習慣病対策室

電話 0 3 - 5 2 5 3 - 1 1 1 1

内線 2 3 4 3, 2 3 4 5

# I 調査の概要

## 1. 調査の目的

この調査は、健康増進法（平成14年法律第103号）に基づき、国民の身体  
の状況、栄養素等摂取量及び生活習慣の状況を明らかにし、国民の健康の増  
進の総合的な推進を図るための基礎資料を得ることを目的とする。

## 2. 調査対象及び客体

調査の対象は、平成17年国民生活基礎調査において設定された調査地区内  
の世帯の世帯員で、平成17年11月1日現在で満1歳以上の者とした。

調査の客体は、平成17年国民生活基礎調査において設定された調査地区か  
ら、層化無作為抽出した300単位区内の世帯及び世帯員とした。

調査実施世帯数は、3,588世帯であり、集計客体数は下記のとおりである。

総数	総数	1-6歳	7-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	6-14歳(再掲)
身体状況調査	7,279	383	619	295	585	831	865	1,116	1,243	1,342	678
血液検査	3,874	-	-	-	273	449	506	711	934	1,001	-
栄養摂取状況調査	8,896	464	741	429	803	1,053	1,090	1,346	1,426	1,544	811
生活習慣調査	9,137	338	812	446	812	1,132	1,149	1,410	1,460	1,578	888

男性	総数	1-6歳	7-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	6-14歳(再掲)
身体状況調査	3,304	188	309	141	284	376	373	492	551	590	330
血液検査	1,558	-	-	-	118	158	176	258	397	451	-
栄養摂取状況調査	4,164	230	365	218	399	508	500	623	648	673	394
生活習慣調査	4,257	159	405	227	399	541	523	659	664	680	437

女性	総数	1-6歳	7-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	6-14歳(再掲)
身体状況調査	3,975	195	310	154	301	455	492	624	692	752	348
血液検査	2,316	-	-	-	155	291	330	453	537	550	-
栄養摂取状況調査	4,732	234	376	211	404	545	590	723	778	871	417
生活習慣調査	4,880	179	407	219	413	591	626	751	796	898	451

### 3. 調査項目

#### 1) 身体状況調査票

- ア. 身長、体重（満1歳以上）
- イ. 腹囲（満6歳以上）
- ウ. 血圧（満15歳以上）
- エ. 血液検査（満20歳以上）
- オ. 1日の運動量〈歩行数〉（満15歳以上）
- カ. 問診〈服薬状況、運動〉（満20歳以上）

#### 2) 栄養摂取状況調査票（満1歳以上）

世帯員各々の食品摂取量、栄養素等摂取量、食事状況〈欠食・外食等〉

#### 3) 生活習慣調査票（満3歳以上）

食生活、身体活動・運動、休養（睡眠）、飲酒、喫煙、歯の健康等に関する生活習慣全般を把握した。特に平成17年調査では、「食生活」及び「アルコール（飲酒）」を重点項目とした。なお、3～14歳は、「食生活」に関する項目のみとした。

### 4. 調査時期

- 1) 身体状況調査：平成17年11月
- 2) 栄養摂取状況調査：平成17年11月の特定の1日（日曜日及び祝日は除く）
- 3) 生活習慣調査：栄養摂取状況調査日と同日

### 5. 調査方法

- 1) 身体状況調査：調査対象者を会場に集めて、調査員である医師、管理栄養士、保健師等が調査項目の計測及び問診を実施した。
- 2) 栄養摂取状況調査：世帯毎に調査対象者が摂取した食品を秤量記録することにより実施し、調査員である管理栄養士等が調査票の説明、回収及び確認を行った。
- 3) 生活習慣調査：留め置き法による自記式質問紙調査を実施した。

### 6. 調査系統

調査系統は次のとおりである。

厚生労働省－都道府県・政令市・特別区－保健所－国民健康・栄養調査員

この調査結果に掲載している数値は、四捨五入のため、内訳合計が総数に合わないことがある。

## Ⅱ 結果の概要

### 第1部 子どもの体型及び生活習慣の状況

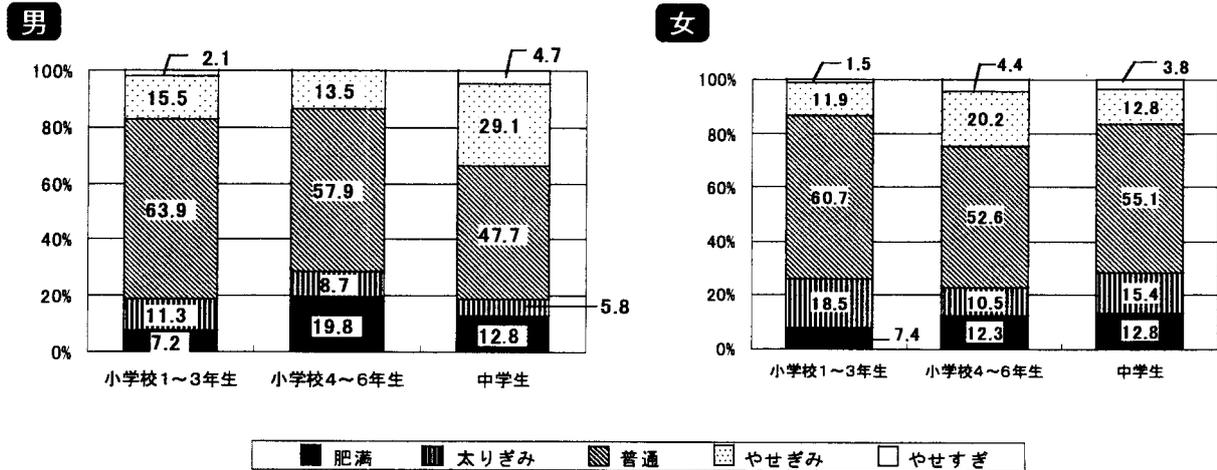
#### 1. 体型の状況

男女共に「肥満」「太りすぎ」或いは「やせすぎ」「やせぎみ」の子どもがそれぞれ約2～3割

男子の小学校4～6年生では、「肥満」「太りすぎ」の者が28.5%であった。中学生では「肥満」「太りすぎ」の者が18.6%、「やせぎみ」「やせすぎ」の者が33.8%であった。

女子の中学生では、「肥満」「太りすぎ」の者が28.2%、「やせぎみ」「やせすぎ」の者が16.6%であった。

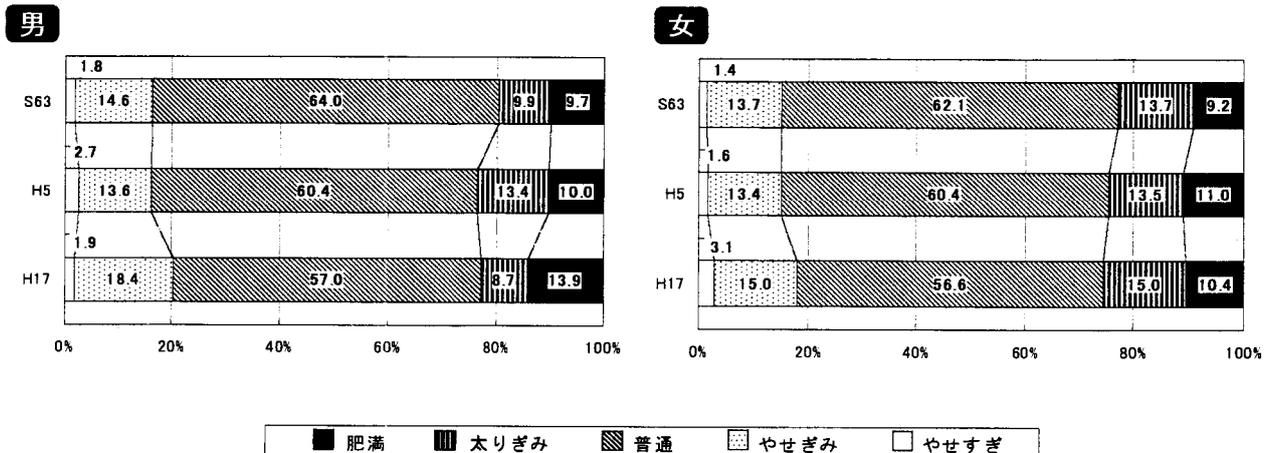
図1 体型の状況



体型の状況を年次推移で見ると、男女共に「普通」の者の割合が減少傾向

体型の状況を年次推移で見ると、「普通」の者の比率が男子は昭和63年の64.0%から平成17年の57.0%と7ポイント減少し、女子は昭和63年の62.1%から平成17年の56.6%と5.5ポイント減少していた。

図2 体型の年次推移



日比式による肥満度判定

6～14歳における肥満度は、実測体重と日比式から求められる標準体重とを比較して判定した。

判定 やせすぎ-20%未満 やせぎみ-20%以上-10%未満 普通-10%以上10%未満 太りすぎ10%以上20%未満 肥満20%以上

肥満度(%) = (実測体重(kg) - 標準体重(kg)) ÷ 標準体重(kg) × 100

標準体重(kg) = 係数1 × 身長(cm)<sup>3</sup> + 係数2 × 身長(cm)<sup>2</sup> + 係数3 × 身長(cm) + 係数4

男子 係数1(0.0000641424) 係数2(-0.0182083) 係数3(2.01339) 係数4(-67.9488)

女子 係数1(0.0000312278) 係数2(-0.00517476) 係数3(0.34215) 係数4(1.66406)

(参考) ①日比逸郎:肥満症.現代小児科学大系 第4巻 栄養障害と代謝障害, pp. 330-343(1968) 中山書店, 東京

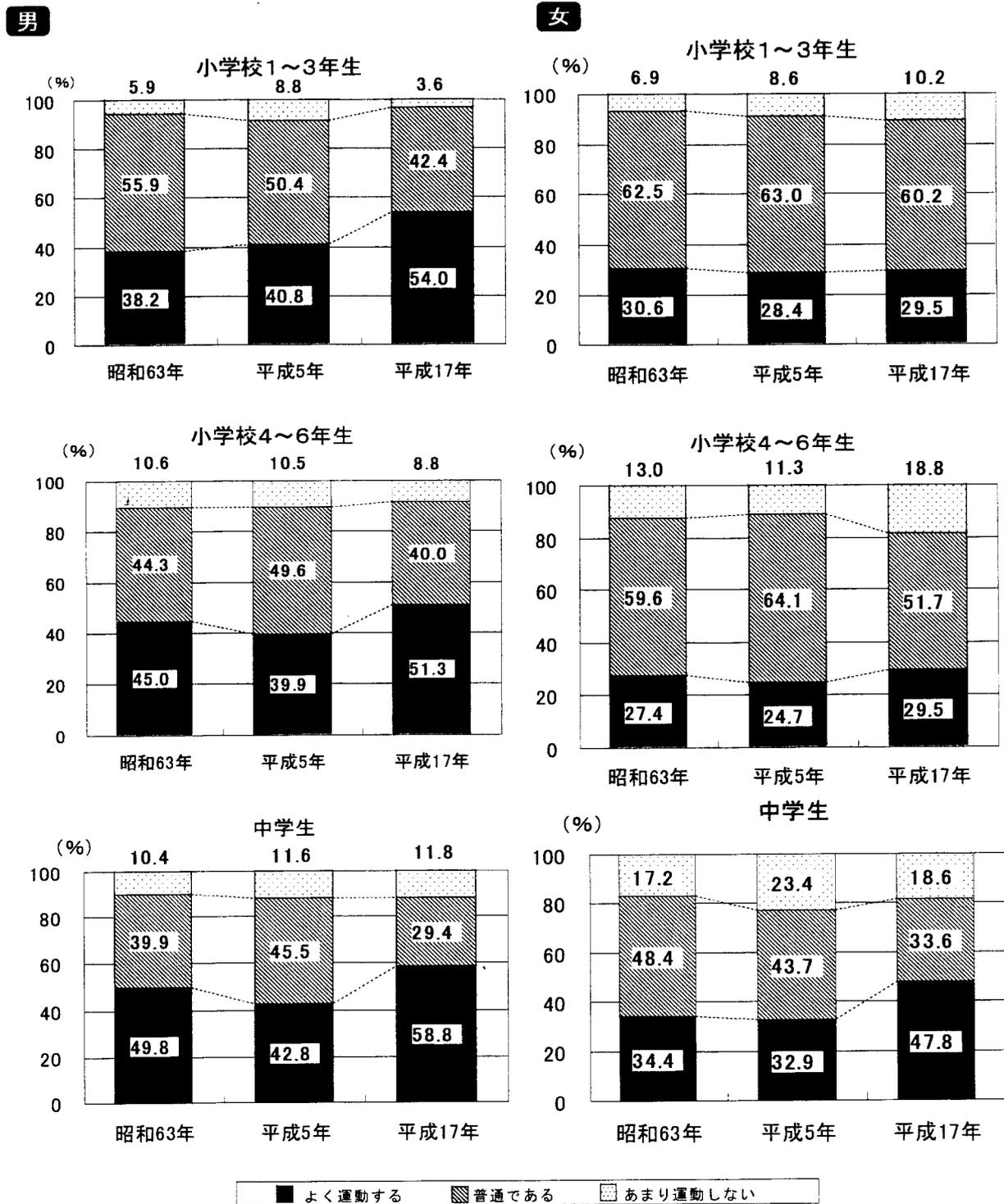
②吉池信男:学童,生徒における肥満者頻度の経年変化-健康日本21の数値目標と各種指標.栄養学雑誌:58(4):177-180(2000)

## 2. 運動及びスポーツ活動の状況

小中学生男子において「よく運動する」と回答した者の割合は5割以上

子どものふだんの運動の状況について、「よく運動する」と回答した者の比率は、平成17年では、男子はいずれの年代も50%以上であり、女子は小学生で約30%、中学生で約50%であった。

図3 運動状況の年次推移

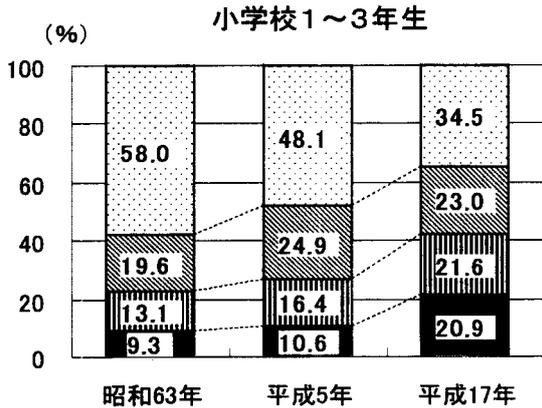


「週3回以上スポーツ活動をしている」と回答した者の割合は、平成5年から男女共にいずれの学年においても増加傾向

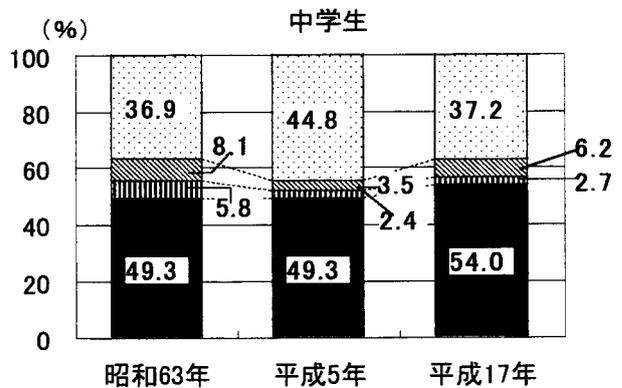
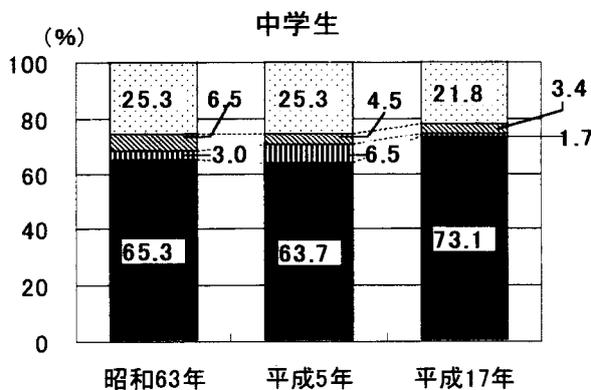
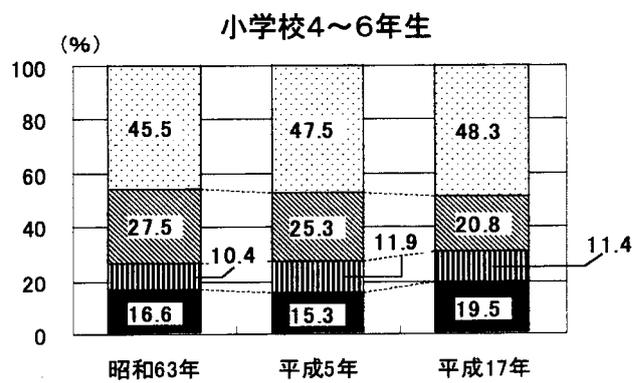
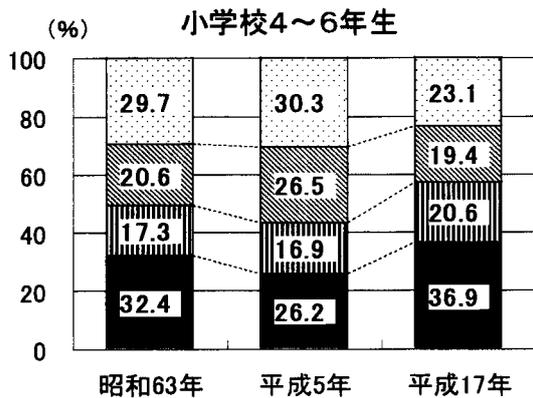
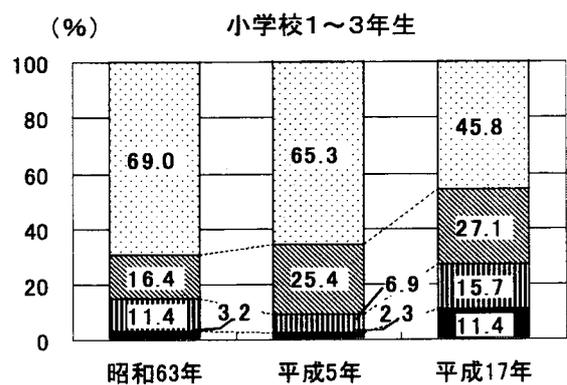
子どもの学校、地域、民間のスポーツクラブ等でのスポーツ活動の状況について、「週3回以上活動している」と回答した者の比率は、平成5年と比べて男女共にいずれの学年においても増加傾向であり、平成17年は、中学生男子で73.1%、中学生女子で54.0%であった。

図4 スポーツ活動の年次推移

男



女



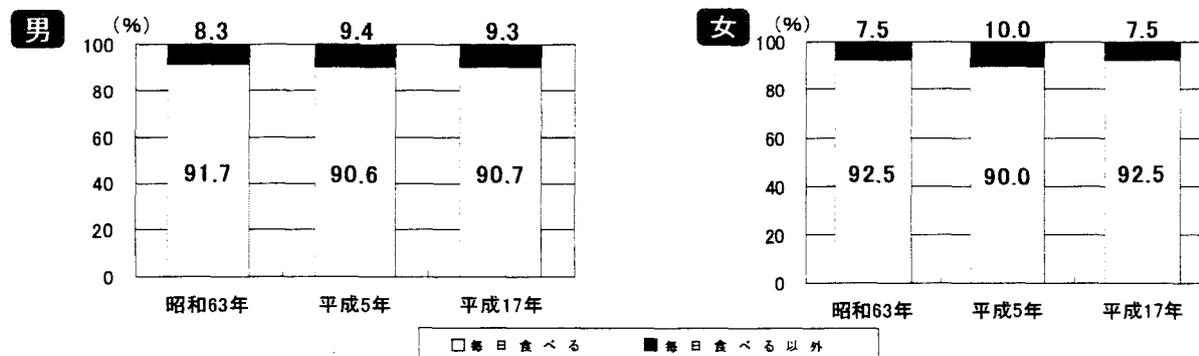
■週3回以上活動している □週2回以上活動している ▨週1回以上活動している □スポーツを行っていない

### 3. 食習慣の状況

**朝食を「毎日食べる」と回答した子どもの割合は、男女共に約9割**

子どものふだんの朝食の状況について、「毎日食べる」と回答した者の比率は、昭和63年、平成5年、平成17年とほぼ横ばいで、男女共に90%以上であった。

図5 朝食欠食の年次推移（小中学生）



**朝食を「子どもだけで食べる」と回答した者の割合は、増加傾向**

ふだん、子どもが朝食を誰と一緒に食べるかについて、「子どもだけで食べる」と回答した者の比率は、小中学生共に増加傾向であり、平成17年には小学生においても40%を超えていた（図6）。「子どもだけで食べる」者のうち、「子ども一人で食べる」者の比率は小学校1～3年生で13.5%、中学生で25.3%であった（図7）。

図6 朝食を子どもだけで食べる比率の年次推移

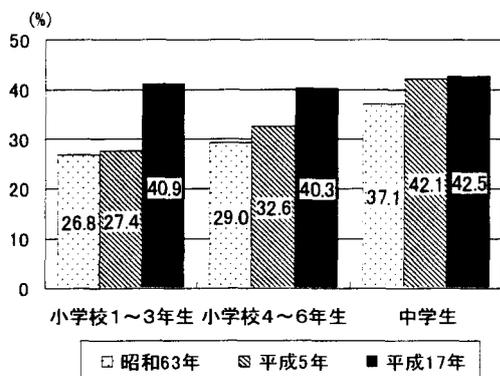
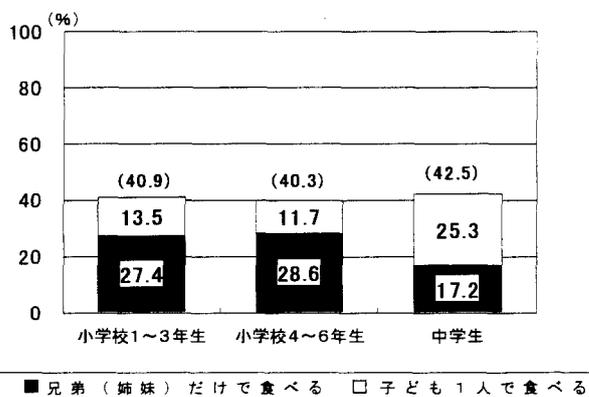
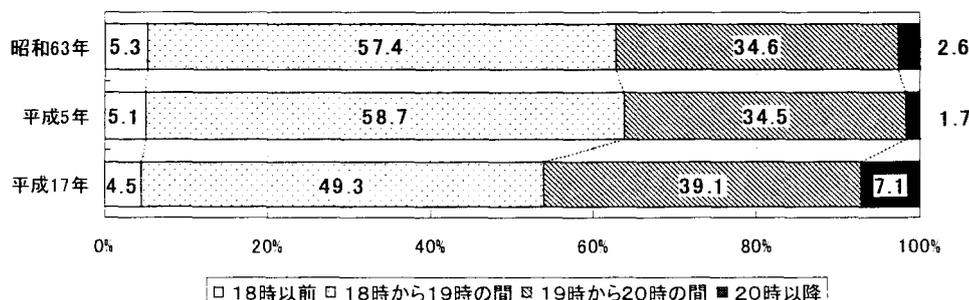


図7 朝食を子ども一人で食べる比率



**夕食を19時以降に食べる子どもの割合は、増加傾向  
特に、20時以降に食べる子どもは、平成5年と比べて5.4ポイント増加**

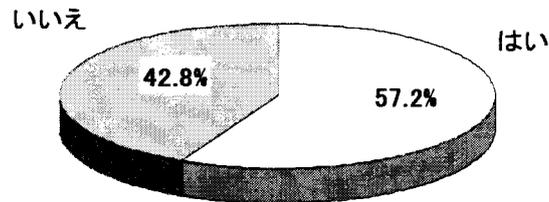
図8 夕食時間の年次推移（小中学生）



## 子どもの現在の食習慣について、改善したい者は約6割

「お子さんの現在の食習慣について、改善したいと思いますか」について、「はい」と回答した者の比率は、57.2%であった。

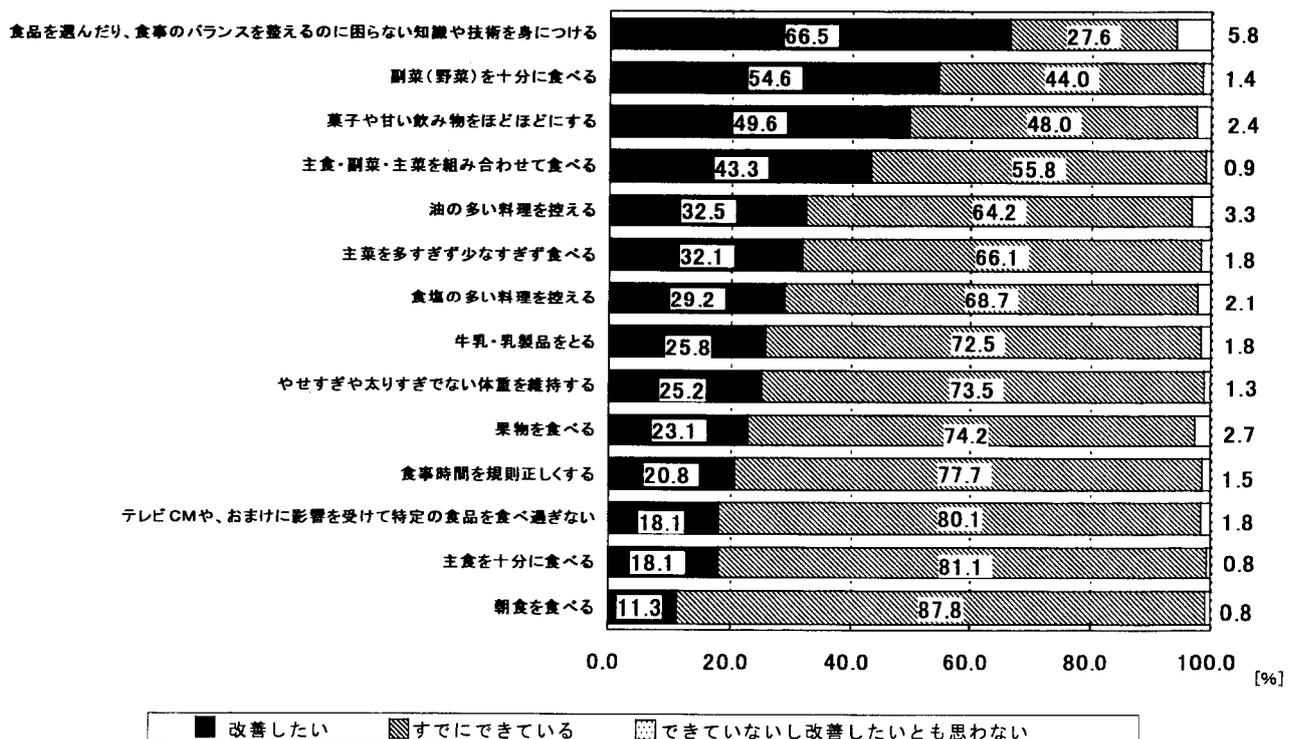
図9 子どもの食習慣についての改善意欲（小中学生）



子どもの食習慣で改善したい項目は、「食品を選んだり、食事のバランスを整えるのに困らない知識や技術を身につける」と回答した者の割合が最も高い

子どもの食習慣について「改善したい」項目は、「食品を選んだり、食事のバランスを整えるのに困らない知識や技術を身につける」が66.5%であり、次いで「副菜（野菜）を十分に食べる」が54.6%、「菓子や甘い飲み物をほどほどにする」が49.6%であった。一方、「朝食を食べる」や「食事時間を規則正しくする」などについて、「すでにできている」と回答した者の比率は約80~90%と高かった。

図10 子どもの食習慣についての改善意識（項目別）（小中学生）



## 第2部 成人の体型及びメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の状況

### 1. 体型の状況

男性では、いずれの年齢階級においても、肥満者の割合が20年前（昭和60年）、10年前（平成7年）と比べて増加しており、40歳代が最も高い。  
 女性では、40～60歳代において肥満者の割合が20年前、10年前と比べて減少している一方で、20～30歳代の約2割が低体重（やせ）。

平成17年の結果では、肥満者の比率は、男性では40歳代で最も高く34.1%であり、女性では60歳代で最も高く29.0%であった（図11）。一方、低体重（やせ）の者の比率は、女性の20歳代で22.6%、30歳代で20.0%であった（図12）。

図11 肥満者(BMI≥25)の割合（20歳以上）

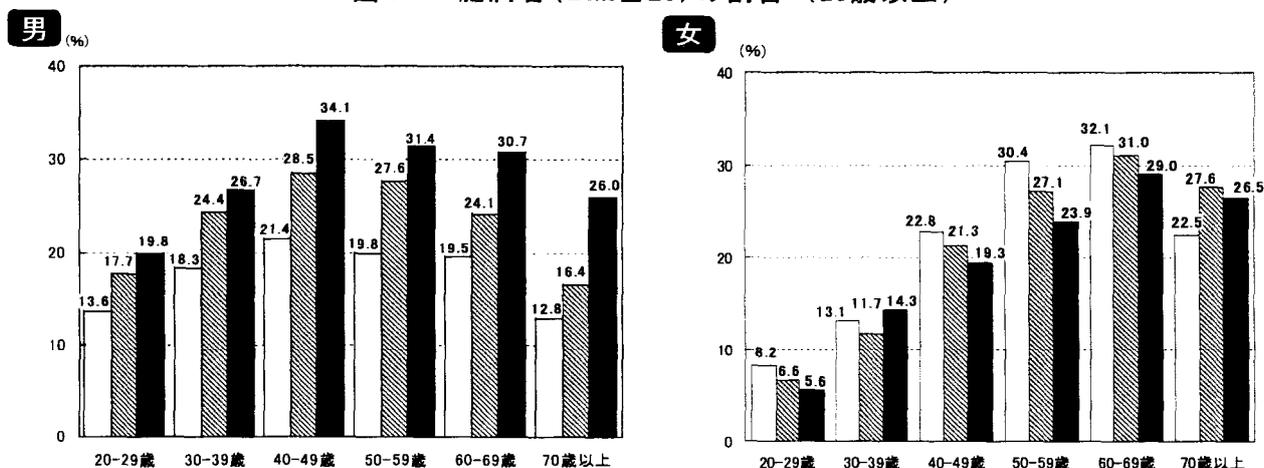
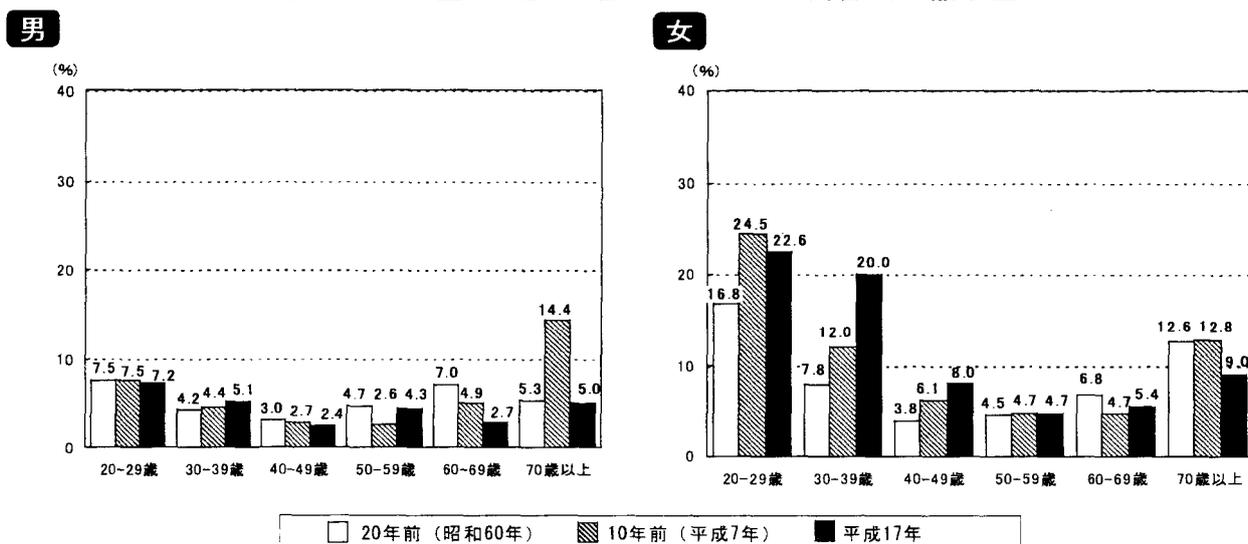


図12 低体重(やせ)の者(BMI<18.5)の割合（20歳以上）



肥満度：BMI (Body Mass Index) を用いて判定  
 $BMI = \frac{\text{体重}[\text{kg}]}{(\text{身長}[\text{m}])^2}$  により算出  
 BMI < 18.5 低体重（やせ）  
 18.5 ≤ BMI < 25 普通体重（正常）  
 BMI ≥ 25 肥満  
 （日本肥満学会肥満症診断基準検討委員会，2000年）

## 2. メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の状況

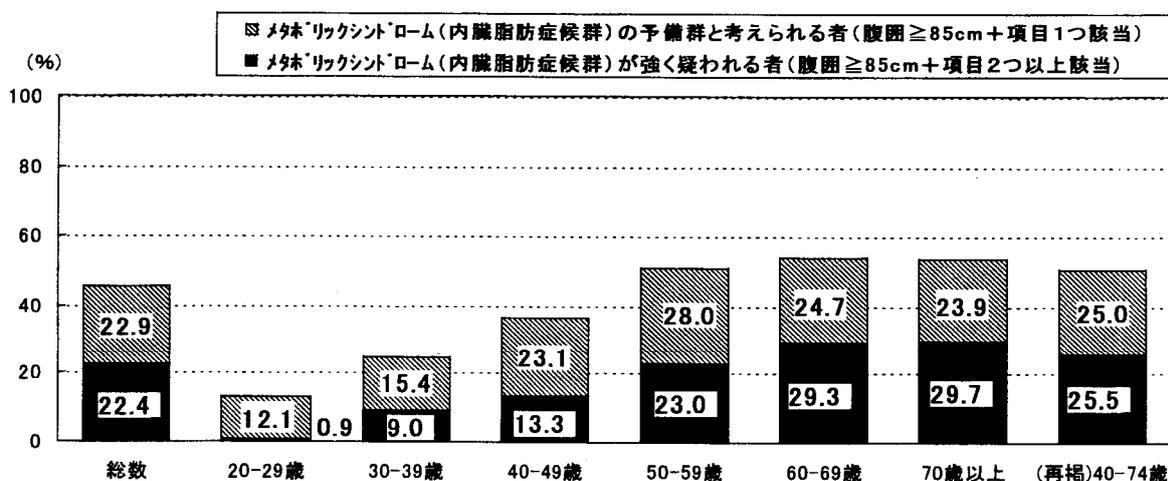
40～74歳で見ると、男性の2人に1人、女性の5人に1人が、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）が強く疑われる者又は予備群と考えられる者

20歳以上において、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）が強く疑われる者の比率は、男性22.4%、女性10.0%、予備群と考えられる者の比率は、男性22.9%、女性8.6%であった。

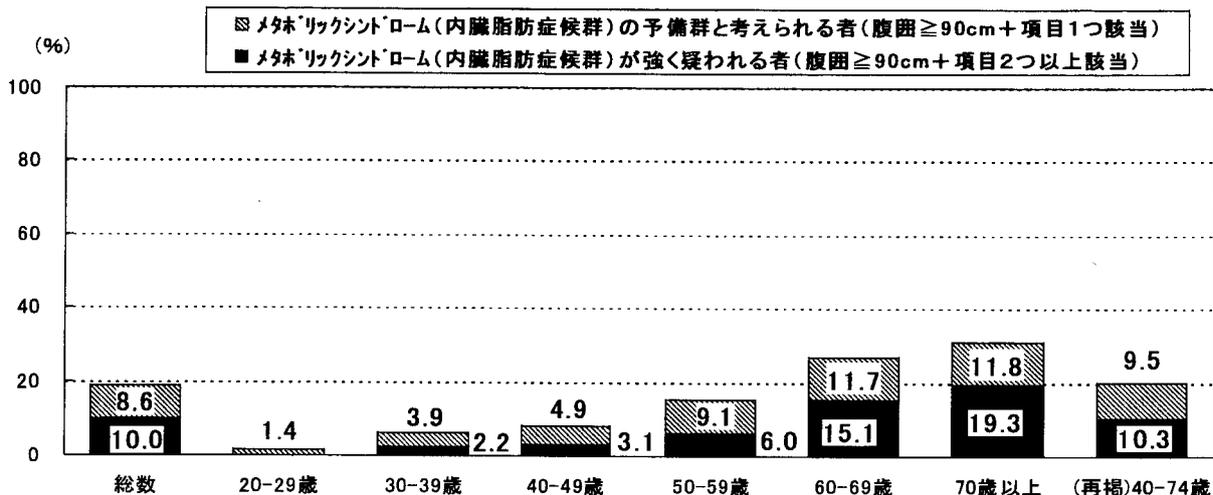
40～74歳で見ると、強く疑われる者の比率は、男性25.5%、女性10.3%、予備群と考えられる者の比率は、男性25.0%、女性9.5%であり、40～74歳男性の2人に1人、女性の5人に1人が、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）が強く疑われる者又は予備群と考えられる者であった。

**男**

図13 メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の状況（20歳以上）



**女**



※各年代のメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）が強く疑われる者と予備群と考えられる者について、平成17年10月1日現在国勢調査人口の男女別、年齢階級別の40-74歳人口（全体約5,700万人中）を用い、それぞれ該当者、予備群として推計したところ、40～74歳におけるメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の該当者数は約920万人、予備群者数は約980万人、併せて約1,900万人と推定される。

### “メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の疑い”の判定

国民健康・栄養調査の血液検査では、空腹時採血が困難であるため、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の診断基準項目である空腹時血糖値及び中性脂肪値により判定はしない。したがって、本報告における判定は以下の通りとした。

#### メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）が強く疑われる者

腹囲が男性85cm、女性90cm以上で、3つの項目（血中脂質、血圧、血糖）のうち2つ以上の項目に該当する者。

※“項目に該当する”とは、下記の「基準」を満たしている場合、かつ/または「服薬」がある場合とする。

#### メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の予備群と考えられる者

腹囲が男性85cm、女性90cm以上で、3つの項目（血中脂質、血圧、血糖）のうち1つに該当する者。

腹 囲	腹囲(ウエスト周囲径) 男性:85cm以上 女性:90cm以上		
項目	血 中 脂 質	血 圧	血 糖
基準	・HDLコレステロール値 40mg/dl未満	・収縮期血圧値 130mmHg以上 ・拡張期血圧値 85mmHg以上	・ヘモグロビンA <sub>1c</sub> 値 5.5%以上
服薬	・コレステロールを下げる薬服用	・血圧を下げる薬服用	・血糖を下げる薬服用 ・インスリン注射使用

(参考：厚生労働科学研究 健康科学総合研究事業「地域保健における健康診査の効率的なプロトコールに関する研究～健康対策指標検討研究班中間報告～」平成17年8月)

※老人保健事業の健康診査では、ヘモグロビンA<sub>1c</sub>値 5.5%以上を「要指導」としているため、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の疑いに関する判定項目である血糖を“ヘモグロビンA<sub>1c</sub>値 5.5%”とした。

### (参考) メタボリックシンドロームの診断基準

(日本動脈硬化学会、日本糖尿病学会、日本高血圧学会、日本肥満学会、

日本循環器学会、日本腎臓病学会、日本血栓止血学会、日本内科学会、2005年4月)

(※上記との比較のため、記載方法を一部変更し、上記とほぼ同様の様式とした。)

#### メタボリックシンドローム

内臓脂肪(腹腔内脂肪)蓄積に加え、下記の2つ以上の項目に該当する場合。

※“項目に該当する”とは、下記の「基準」を満たしている場合、かつ/または「服薬」がある場合とする。

内臓脂肪(腹腔内脂肪)蓄積	ウエスト周囲径 男性:85cm以上 女性:90cm以上 (内臓脂肪面積 100cm <sup>2</sup> 以上に相当(男女とも))		
項目	血 中 脂 質	血 圧	血 糖
基準	・中性脂肪(TG)値 150mg/dl以上 (高トリグリセライド血症) ・HDLコレステロール値 40mg/dl未満 (低HDLコレステロール血症)	・収縮期血圧値 130mmHg以上 ・拡張期血圧値 85mmHg以上	・空腹時血糖値 110mg/dl以上
服薬	・高トリグリセライド血症に対する薬物治療 ・低HDLコレステロール血症に対する薬物治療	・高血圧に対する薬物治療	・糖尿病に対する薬物治療

\* CTスキャンなどで内臓脂肪量測定を行うことが望ましい。

\* ウエスト径は立位、軽呼吸時、臍レベルで測定する。脂肪蓄積が著明で臍が下方に偏位している場合は肋骨下縁と前上腸骨棘の中点の高さで測定する。

\* メタボリックシンドロームと診断された場合、糖負荷試験が薦められるが診断には必須ではない。

\* 糖尿病、高コレステロール血症の存在はメタボリックシンドロームの診断から除外されない。

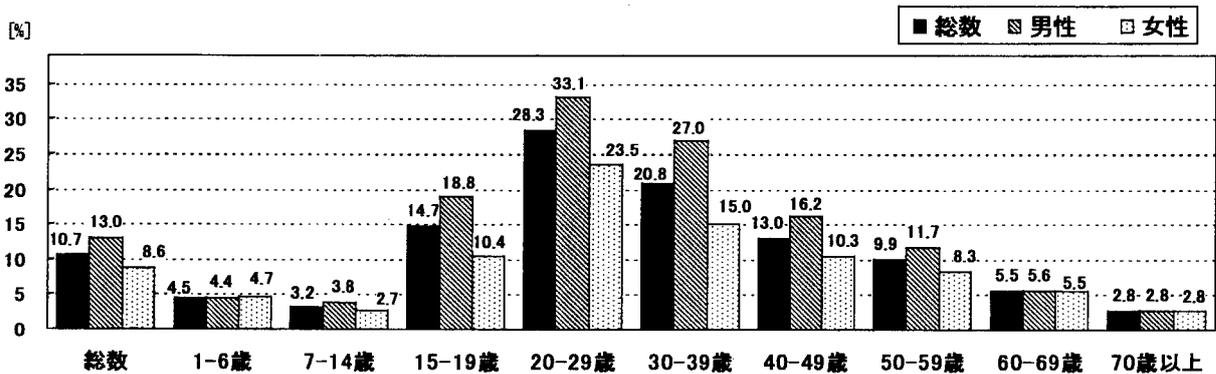
### 第3部 生活習慣に関する状況

#### 1. 食習慣の状況

朝食の欠食率は、男女共に20歳代で最も高く、男性で約3割、女性で約2割

朝食の欠食率は、男女共に20歳代で最も高く、男性33.1%、女性23.5%であり、その後、年齢と共に低くなっていた。

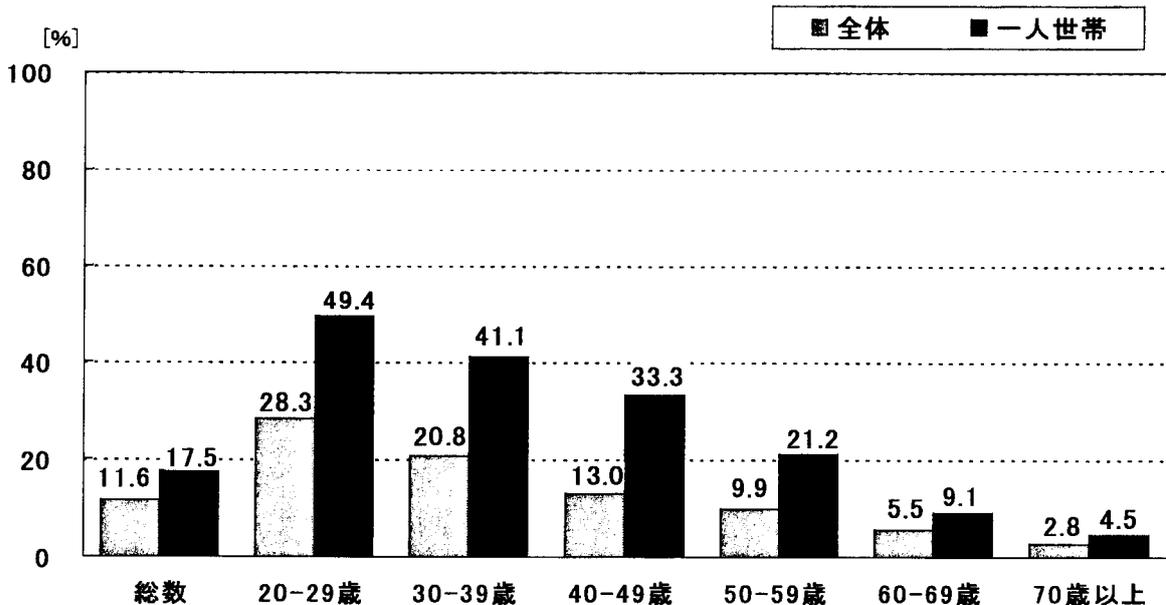
図14 朝食の欠食率（1歳以上）



一人世帯に限った朝食の欠食率は、20歳代で最も高く約5割

一人世帯に限った朝食の欠食率は、20歳代で最も高く49.4%、次いで30歳代で41.1%、40歳代で33.3%であった。

図15 朝食の欠食率—一人世帯と全体—（20歳以上）



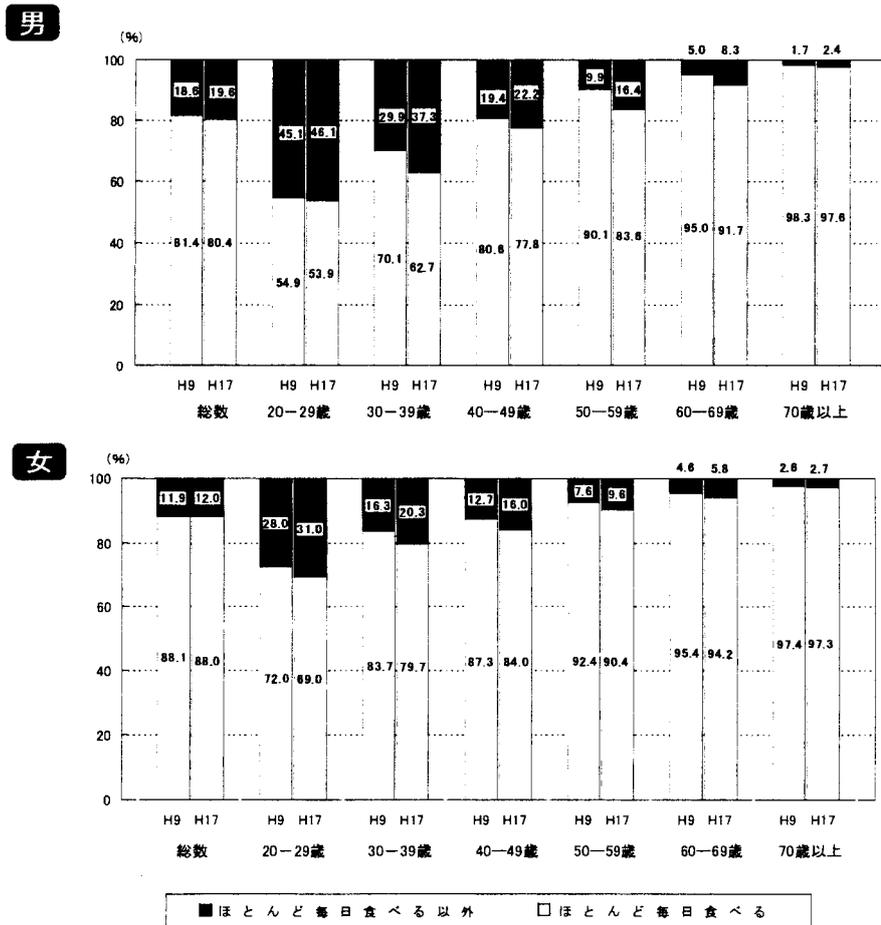
本調査での「欠食」は以下3つの場合の合計である。

- ①何も食べない（食事をしなかった場合）
- ②菓子、果物、乳製品、嗜好飲料などの食品のみ食べた場合
- ③錠剤・カプセル・顆粒状のビタミン・ミネラル、栄養ドリンク剤のみの場合

**ふだんの朝食を、「ほとんど毎日食べる」と回答した者の割合は、平成9年と比較して減少傾向**

朝食の摂食頻度の状況についてみると、平成17年では、「ほとんど毎日食べる」以外に回答した者は、男性では20歳代で46.1%、30歳代で37.3%と他の年代に比べて高く、女性では20歳代が31.0%と他の年代に比べて高かった。また、年次推移では、「ほとんど毎日食べる」と回答した者は、各年代共に減少傾向であった。

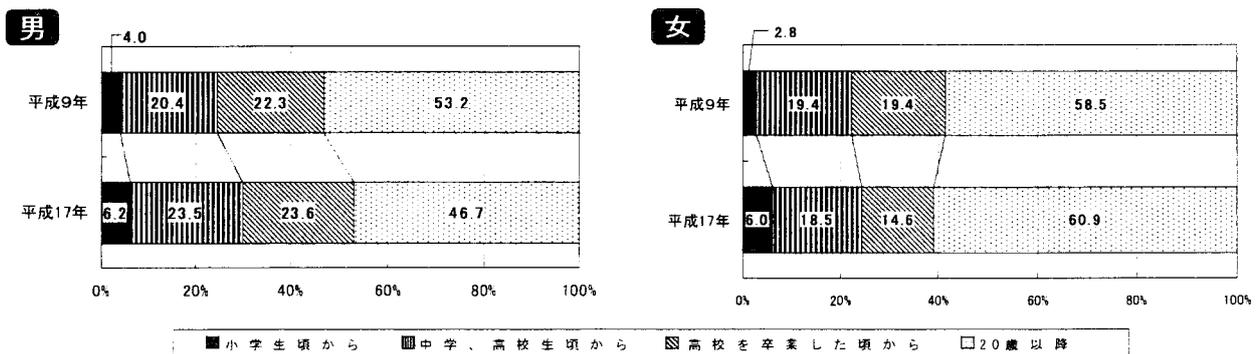
**図16 ふだんの朝食の欠食頻度の年次推移（20歳以上）**



**ふだんの朝食欠食が始まった時期は、男女共に「小学生頃から」と回答した者の割合が増加**

ふだん朝食を欠食する者において、「いつ頃から欠食するようになったか」について、「小学生頃から」と回答した者の比率は、男女共に増加していた。

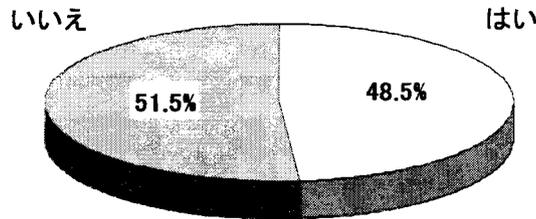
**図17 ふだんの朝食欠食が始まった時期の年次推移（20歳以上）**



現在の食習慣について改善したいと思っている者の割合は約5割

「現在の食習慣について、改善したいと思えますか」について、「はい」と回答した者の比率は、48.5%であった。

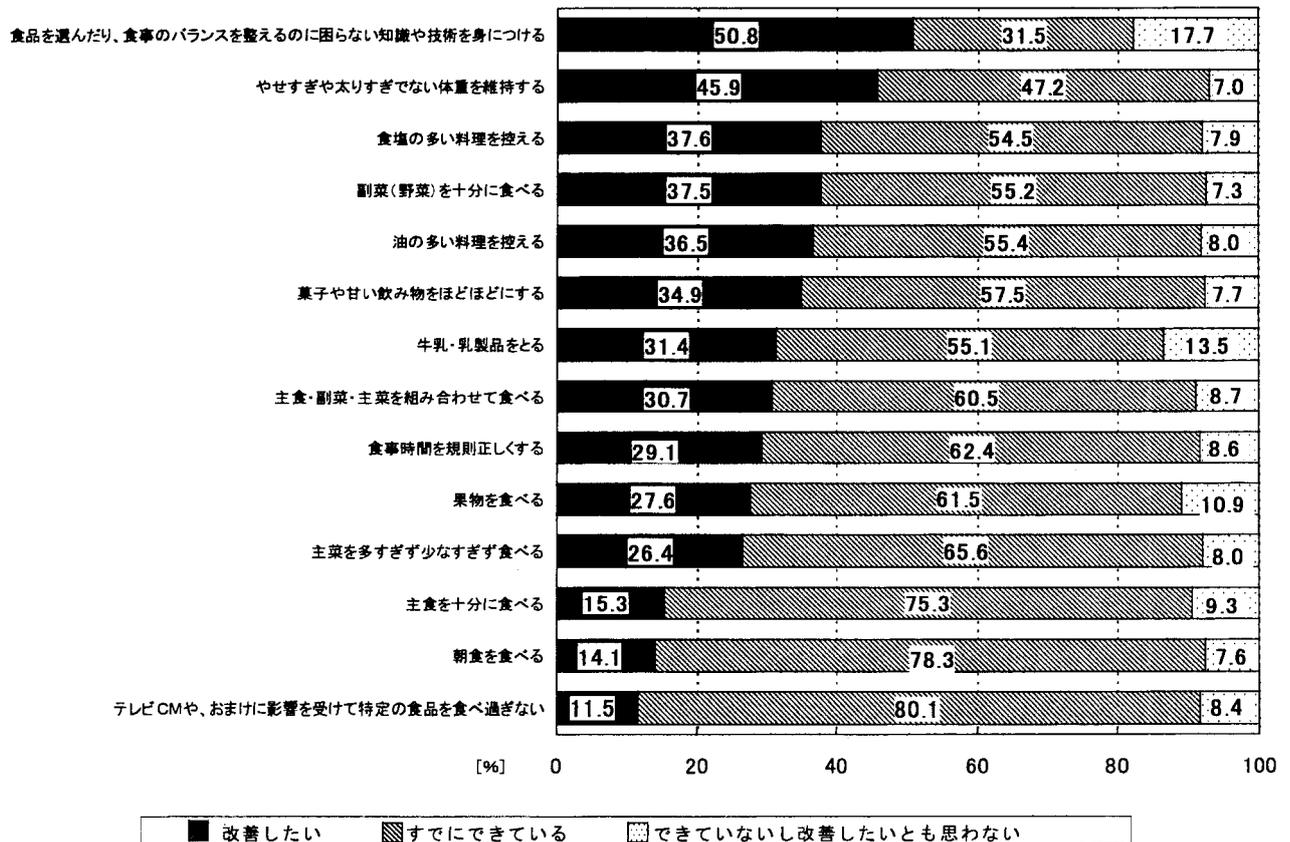
図18 食習慣についての改善意識（15歳以上）



食習慣で改善したい項目は、「食品を選んだり、食事のバランスを整えるのに困らない知識や技術を身につける」と回答した者の割合が最も高い

現在の食習慣について「改善したい」と回答した項目は、「食品を選んだり、食事のバランスを整えるのに困らない知識や技術を身につける」が50.8%であり、次いで「やせすぎや太りすぎでない体重を維持する」が45.9%、「食塩の多い料理を控える」が37.6%であった。一方、「テレビCMや、おまけに影響を受けて特定の食品を食べ過ぎない」について、「すでにできている」と回答した者の比率は80.1%と高かった。

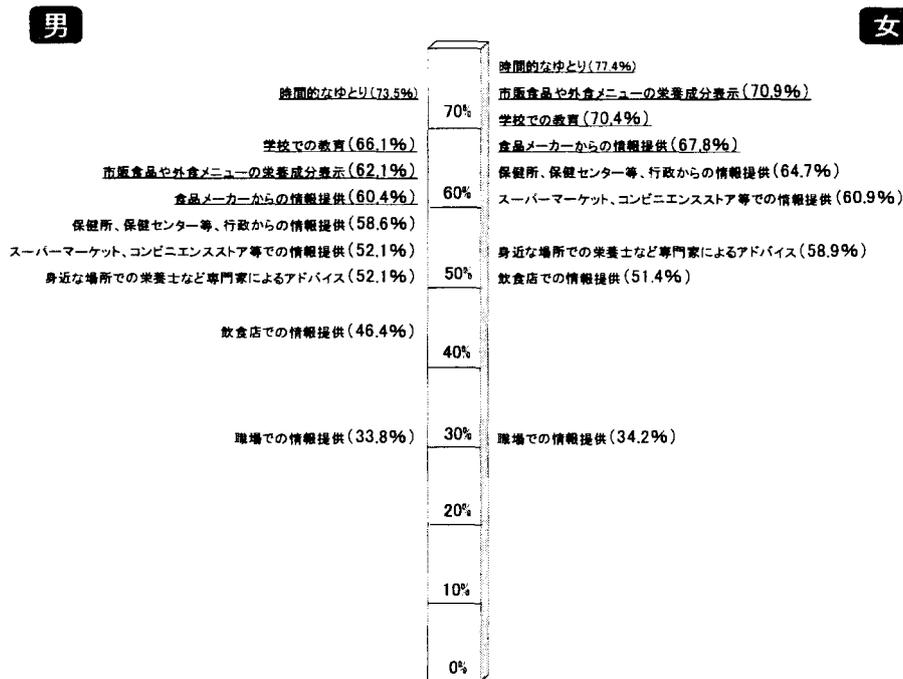
図19 食習慣についての改善意識（項目別）（15歳以上）



食習慣改善のために必要なことは、「時間的なゆとり」、「学校での教育」、「市販食品や外食メニューの栄養成分表示」、「食品メーカーからの情報提供」が男女共に上位

「食習慣を改善しようとする場合、どのようなことが必要と思いますか」について、男女共に「時間的なゆとり」、「学校での教育」、「市販食品や外食メニューの栄養成分表示」、「食品メーカーからの情報提供」を「必要と思う」と回答した者の比率が高かった。また、「身近な場所での栄養士など専門家によるアドバイス」と回答した者の比率は、男性約50%、女性約60%であった。

図20 食習慣改善のために必要なこと（15歳以上）

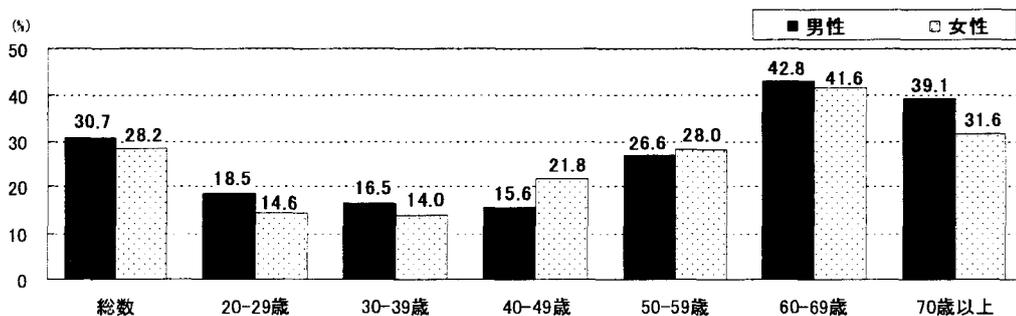


## 2. 運動習慣の状況

運動習慣のある者の割合は、男性は40歳代、女性は30歳代で最も低く、男女共に60歳代で最も高く約4割

運動習慣のある者の比率は、男女共に60歳代が最も高く約40%であった。

図21 運動習慣のある者の割合（20歳以上）



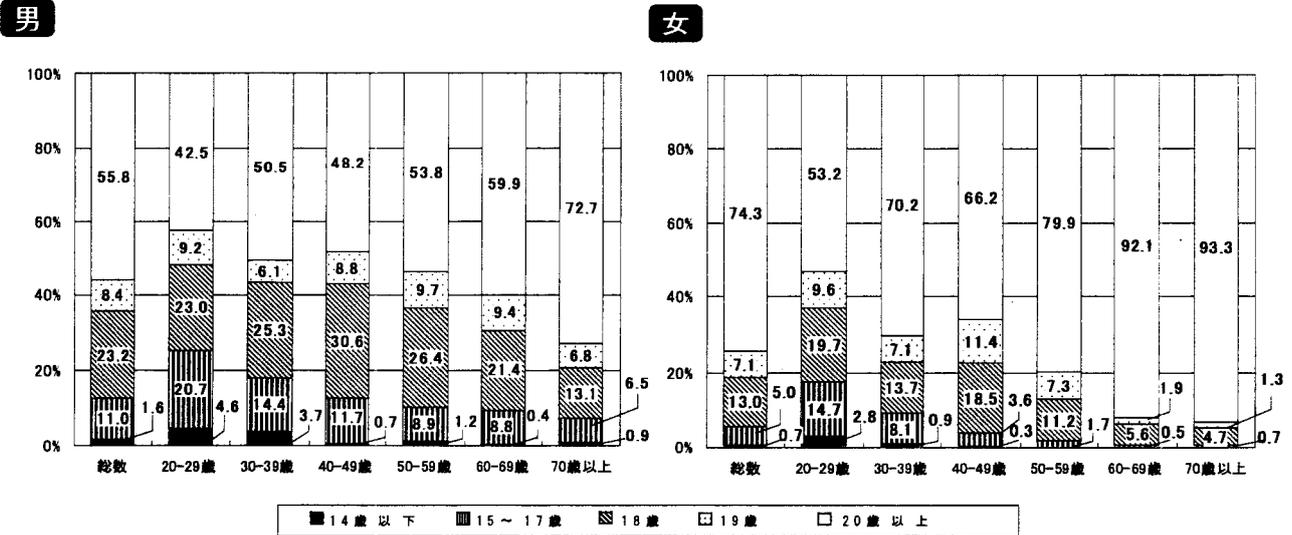
運動習慣のある者：1回30分以上の運動を週2日以上実施し、1年以上継続している者

### 3. 飲酒の状況

20歳未満で初めて飲酒した者の割合は、男性の20～50歳代、女性の20歳代で約5割

(少量の試し飲みは除く)

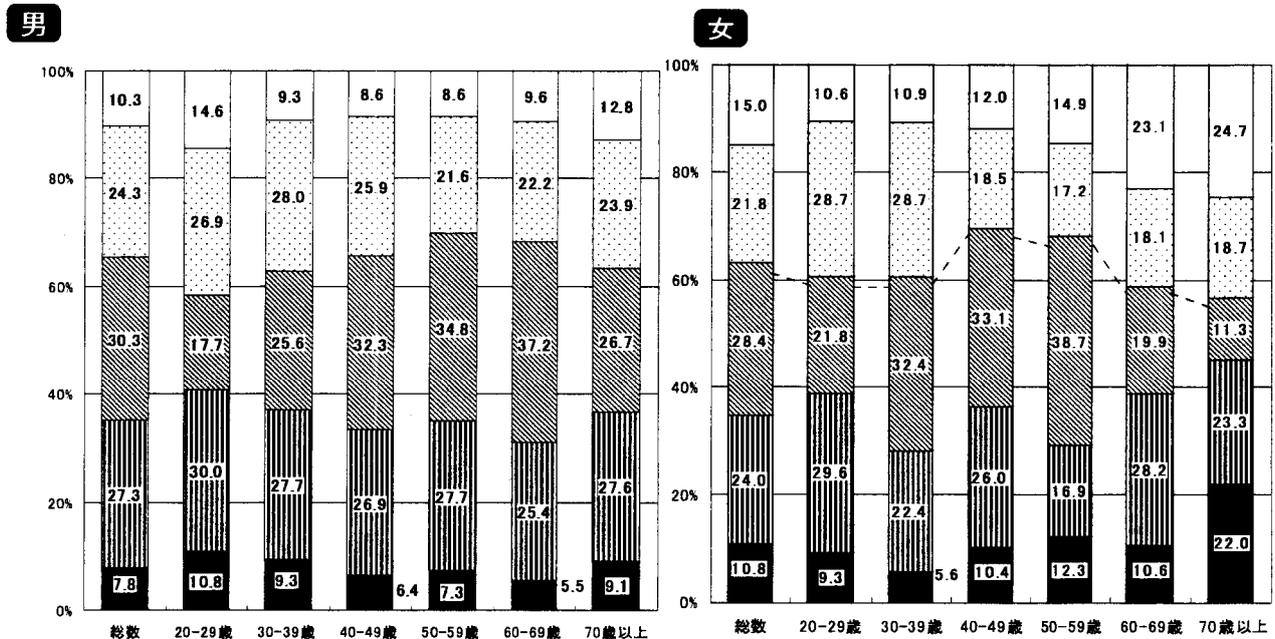
図22 初回飲酒年齢(20歳以上)



初めて飲酒したきっかけは、男女共に約6割が周囲からの勧め

「初めて飲酒をしたきっかけ」について、「先輩、上司等の目上の人に勧められたから」、「友人に勧められたから」、「親、親類等から勧められたから」を合わせると、男女共に各年代において、約60～70%であった。

図23 初めて飲酒したきっかけ(20歳以上)



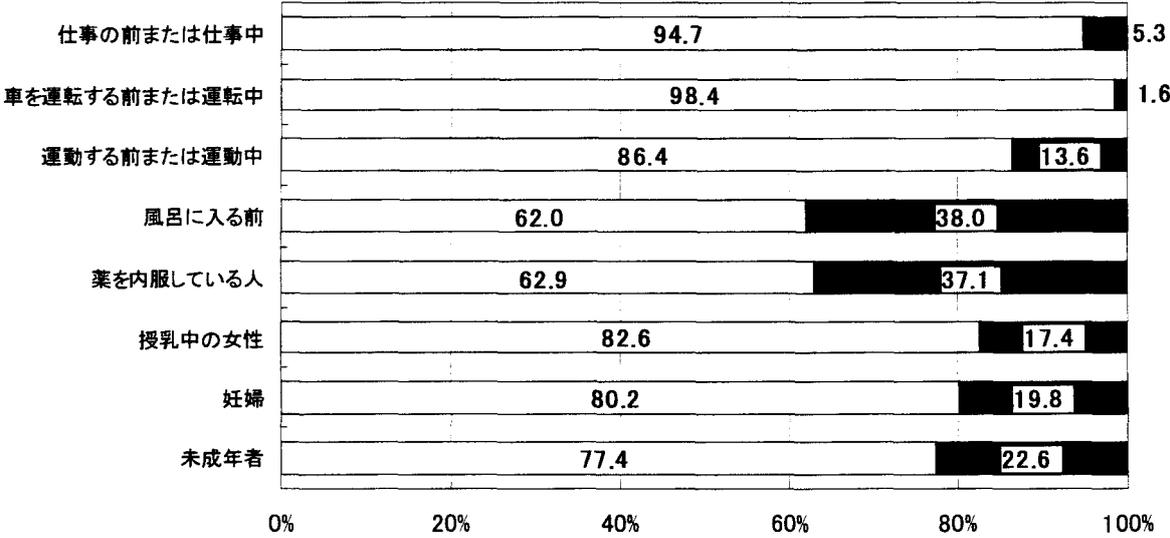
■親、親類等から勧められたから ■友人に勧められたから ■先輩、上司等の目上の人に勧められたから  
□特に勧められはしなかったが、飲酒したくなったから □その他

未成年者について「全く飲酒すべきではない」と回答した者の割合は、  
男性で約8割、女性で約9割

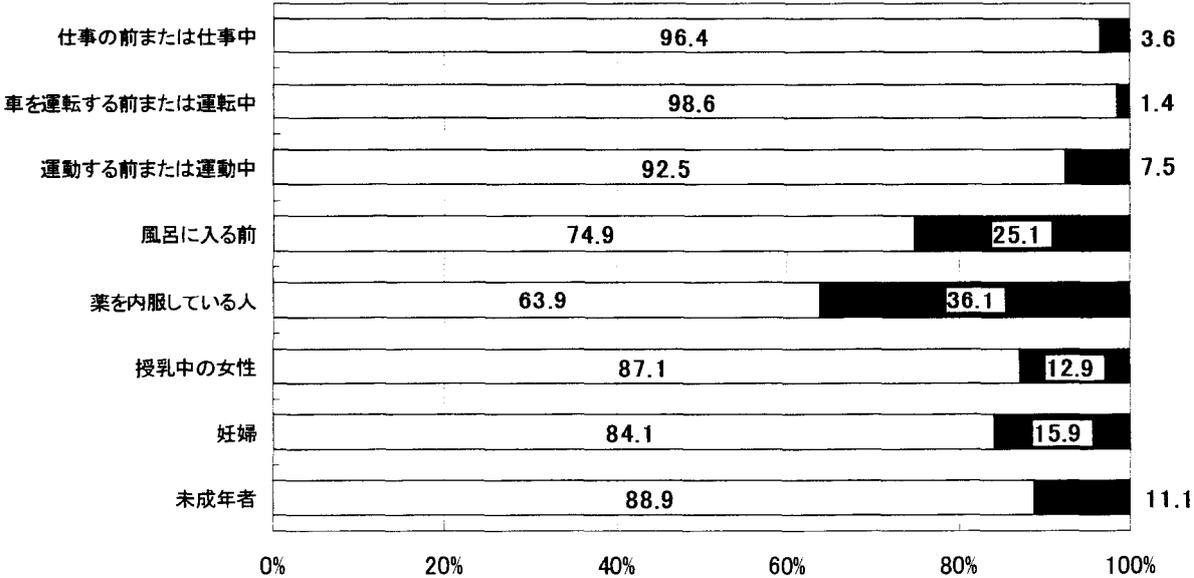
「車を運転する前または運転中」に「全く飲酒すべきでない」と回答しなかった者の比率は男性1.6%、女性1.4%であった。同じく、「妊婦・授乳婦」に対しては男性で約20%、女性で約15%であった。

図24 飲酒に対する意識(20歳以上)

**男**



**女**



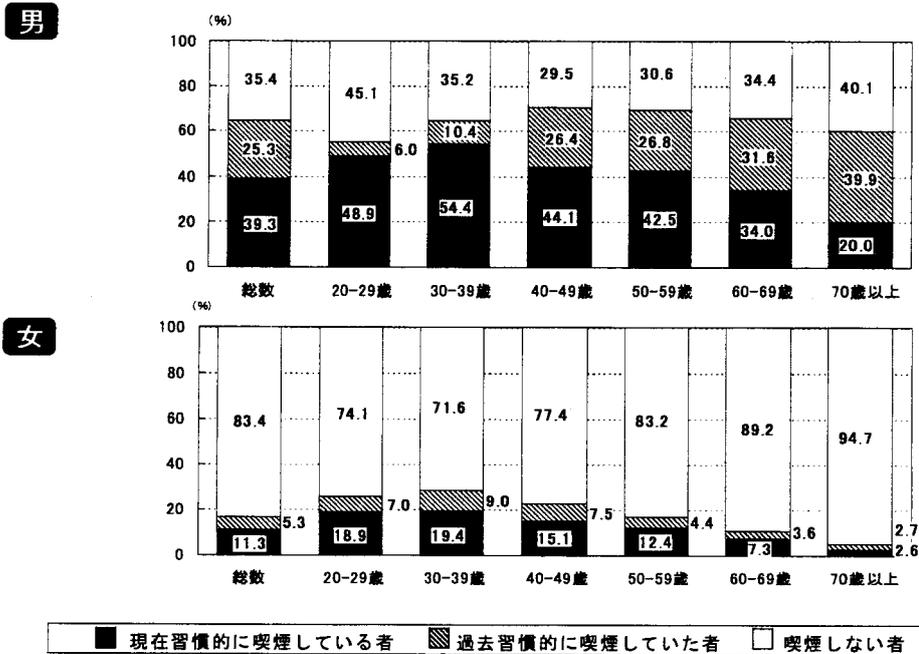
□ 全く飲酒すべきでない      ■ 全く飲酒すべきでない以外

#### 4. 喫煙の状況

現在習慣的に喫煙している者の割合は、男女共に20～30歳代が高く、男性で約5割、女性で約2割

現在習慣的に喫煙している者の比率は、男性では30歳代が最も高く54.4%、20歳代で48.9%、女性においても30歳代が最も高く19.4%、20歳代で18.9%であった。

図25 喫煙の状況（20歳以上）



現在習慣的に喫煙している者：

これまで合計100本以上又は6ヶ月以上たばこを吸っている(吸っていた)者のうち、「この1ヶ月間に毎日又は時々たばこを吸っている」と回答した者

過去習慣的に喫煙していた者：

これまで合計100本以上又は6ヶ月以上たばこを吸っている(吸っていた)者のうち、「この1ヶ月間にたばこを吸っていない」と回答した者

喫煙しない者：

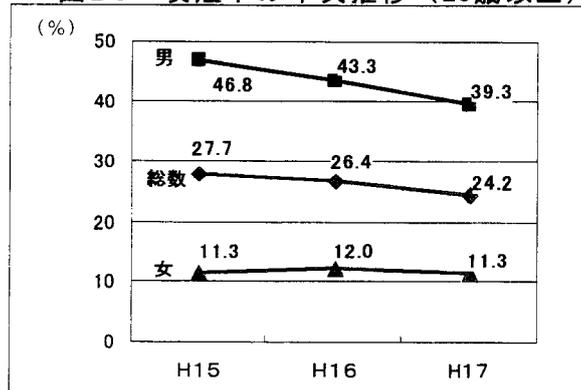
「まったく吸ったことがない」又は「吸ったことはあるが、合計100本未満で6ヶ月未満である」と回答した者

現在習慣的に喫煙している者における「やめたい」と考えている者の割合を平成19年に調査予定

喫煙率は男女共に平成16年に比べ低下し、男性は4割を下回った

喫煙率の年次推移をみると、男女共に平成16年に比べ低下し、男性39.3%、女性11.3%であった。

図26 喫煙率の年次推移（20歳以上）



## 第4部 栄養素等摂取、食品群別摂取の状況

### 1. エネルギー摂取量及び脂肪エネルギー比率

エネルギー摂取量の平均値は、男女共に漸減傾向。  
脂肪からのエネルギー摂取が30%以上の者の割合は、  
成人の男性で約2割、女性で約3割

エネルギー摂取量の平均値は、男女共に漸減傾向（図27）。脂肪からのエネルギー摂取が30%以上の者は、成人の男性で18.1%、女性で26.6%であり（図28）、年次推移でみると、男女共に25%未満の者の比率が漸減し、30%以上の者の比率が漸増していた（図29）。

図27 エネルギー摂取量の平均値の年次推移（20歳以上）

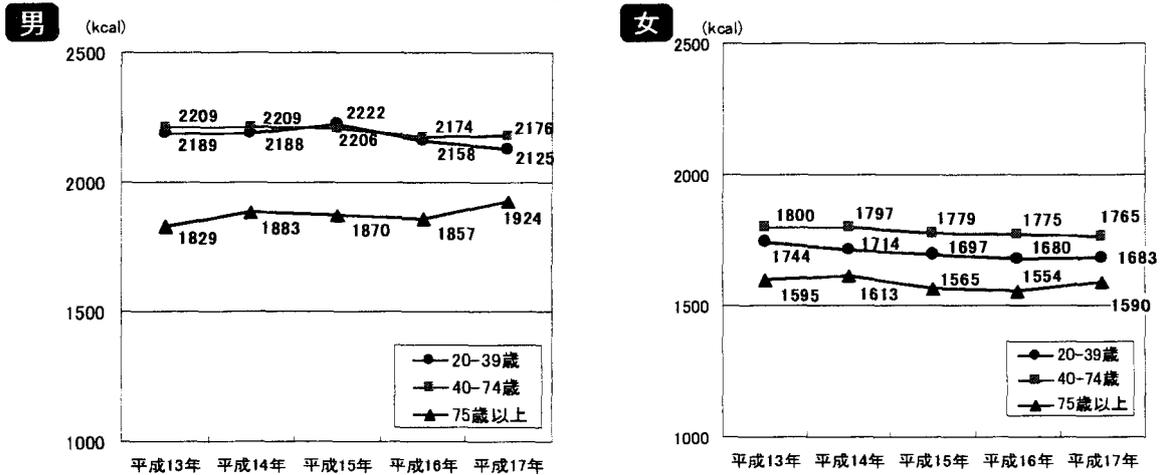


図28 脂肪エネルギー比率の分布（20歳以上）

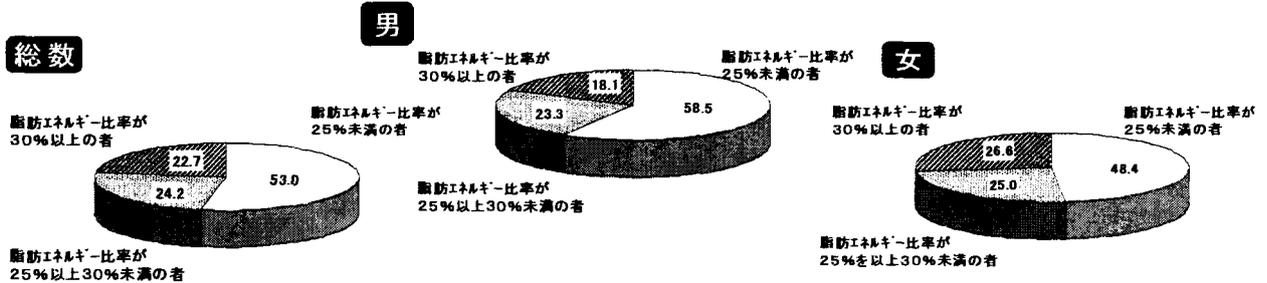
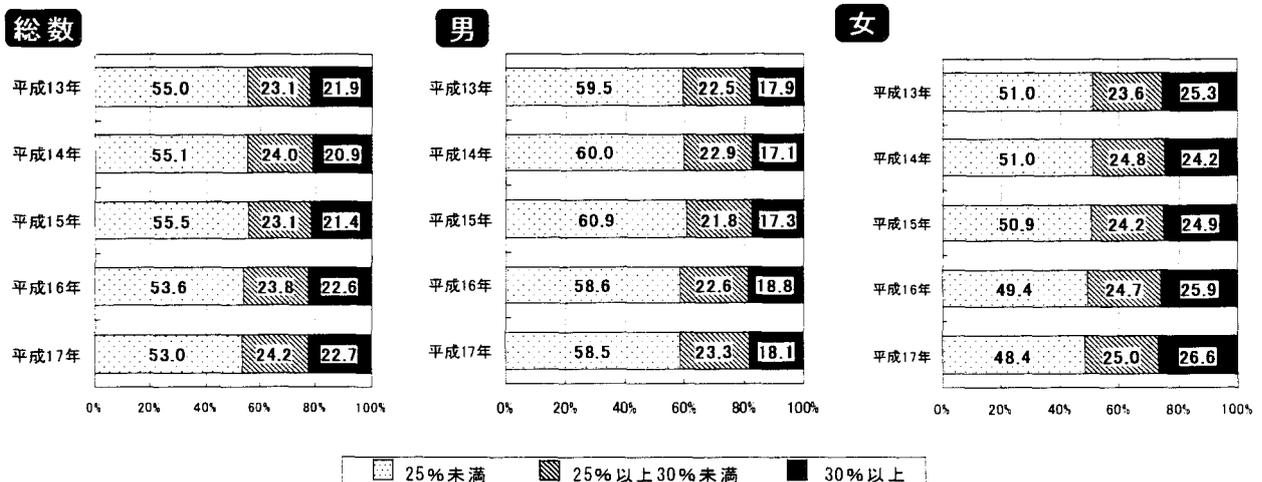


図29 脂肪エネルギー比率の分布の年次推移（20歳以上）



脂肪エネルギー比率：  
脂肪からのエネルギー摂取割合

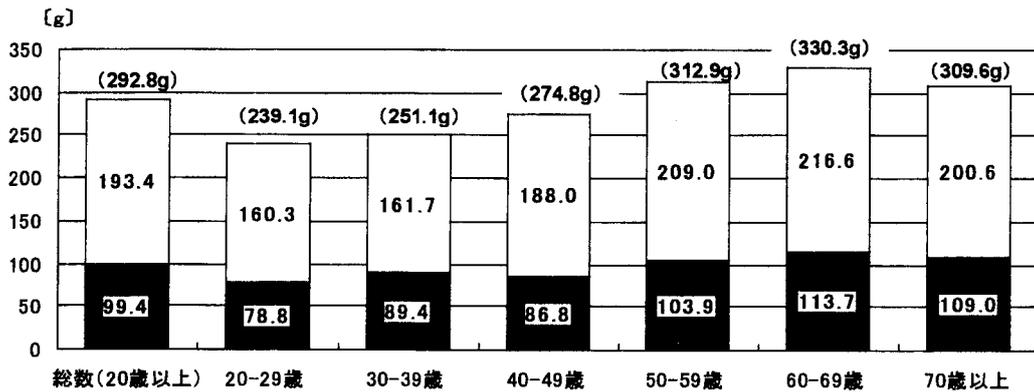
## 2. 野菜摂取量

野菜摂取量は、年齢と共に増加しているが、最も摂取量の多い60歳代においても、平均で330.3g

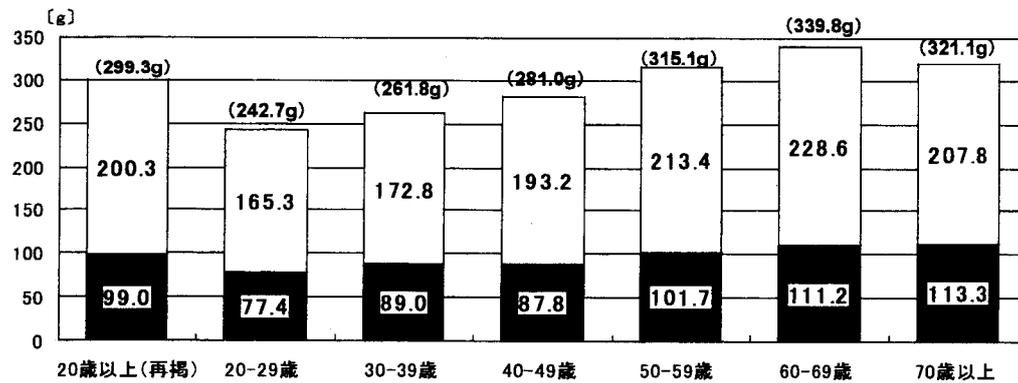
野菜類の摂取量の成人全体における平均では292.8g、最も多い60歳代の平均で 330.3gであった。また、男女とも20～40歳代は平均摂取量が300gに達していなかった。

図30 野菜類摂取量の平均値（20歳以上）

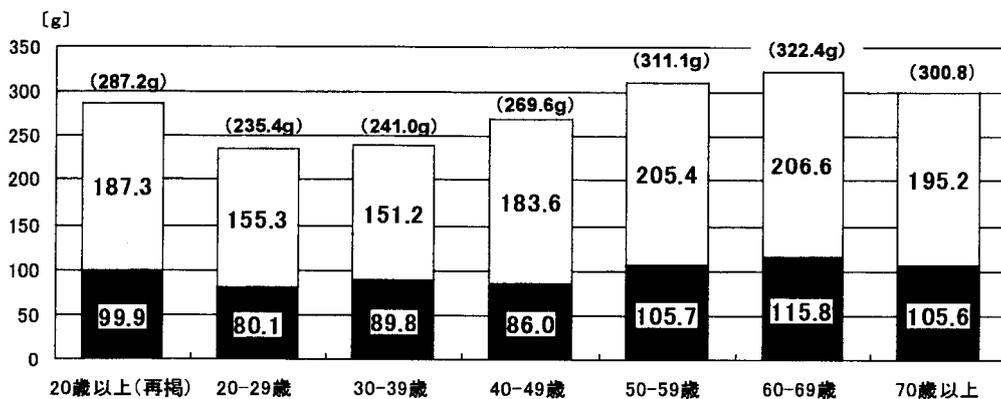
総数



男



女



■ 緑黄色野菜 □ その他の野菜（緑黄色野菜以外）

( ) 内は、「緑黄色野菜」及び「その他の野菜（野菜類のうち緑黄色野菜以外）」摂取量の合計。

### 3. 食塩摂取量

食塩を目標量を超えて摂取している者の割合は、男性で約6割、女性で約7割

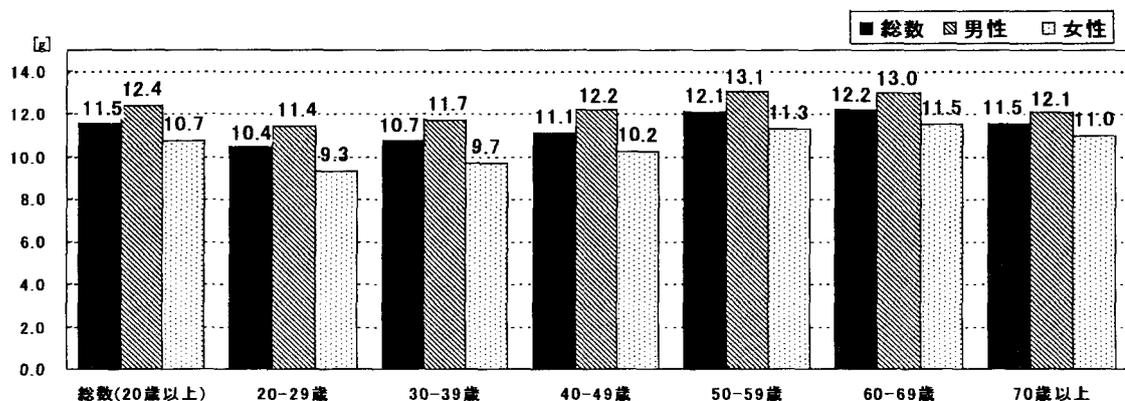
成人の60%以上の者が、食塩を目標量以上摂取していた。

また、成人の1日当たりの食塩摂取量の平均値は、11.5g(男性12.4g, 女性10.7g)であった。

図31 食塩摂取量の分布 (20歳以上)



図32 食塩摂取量の平均値 (20歳以上)



$$\text{食塩摂取量 (g)} = \text{ナトリウム (mg)} \times 2.54 / 1,000$$

(参考) 日本人の食事摂取基準 (2005年版)  
 食塩摂取の目標量 成人男性 10g 未満 成人女性 8g 未満

## 第5部 平成18年国民健康・栄養調査「速報」

平成18年11月に実施された国民健康・栄養調査のうち、都道府県健康増進計画改定ガイドラインの参酌（さんしゃく）標準で示された「内臓脂肪型肥満に着目した生活習慣病の有病者・予備群の数」の指標にかかる項目については、都道府県健康増進計画改定の参考とするため、速報として集計・解析したものである。追って公表される、『平成18年国民健康・栄養調査報告』と確定数が若干相違する可能性があるが、大局的な観察にはほとんど支障ないものと考えられる。

### 1. 調査対象及び客体

調査の対象は、平成18年国民生活基礎調査において設定された調査地区内の世帯の世帯員で、平成18年11月現在で満1歳以上の者とした。

調査の客体は、平成18年国民生活基礎調査において設定された調査地区から、層化無作為抽出した300単位区内の世帯及び世帯員とした。

調査実施世帯数は、3,582世帯（概数）であり、集計客対数は、下記のとおりである。

表 集計客体数の概要

総数												
年齢階級	総数	1-6歳	7-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	再掲40-74歳	
身長・体重計測	8,059	502	674	350	607	1,048	916	1,300	1,209	1,453	4006	
腹囲計測	7,128	90	605	305	541	978	868	1,237	1,151	1,353	3811	
血圧計測	4,719	0	0	149	302	635	601	909	976	1,147	2956	
問診	5,005	0	0	0	365	754	658	992	1,034	1,202	3177	
血液検査	4,319	0	0	0	284	607	573	876	919	1,060	2814	

男性												
年齢階級	総数	1-6歳	7-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	再掲40-74歳	
身長・体重計測	3,685	248	338	185	274	458	417	588	536	641	1819	
腹囲計測	3,225	45	303	162	246	420	389	560	502	598	1715	
血圧計測	1,925	0	0	71	122	222	220	366	412	512	1220	
問診	2,087	0	0	0	152	289	255	415	445	531	1346	
血液検査	1,754	0	0	0	114	211	210	351	391	477	1163	

女性												
年齢階級	総数	1-6歳	7-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	再掲40-74歳	
身長・体重計測	4,374	254	336	165	333	590	499	712	673	812	2187	
腹囲計測	3,903	45	302	143	295	558	479	677	649	755	2096	
血圧計測	2,794	0	0	78	180	413	381	543	564	635	1736	
問診	2,918	0	0	0	213	465	403	577	589	671	1831	
血液検査	2,565	0	0	0	170	396	363	525	528	583	1651	

### 2. 集計項目

#### ○身体状況調査

身長、体重、腹囲測定、血圧測定、問診（服薬状況）、血液検査（ヘモグロビンA<sub>1c</sub>、HDLコレステロール）

3. 都道府県健康増進計画参酌標準関連表  
 (内臓脂肪型肥満に着目した生活習慣病の有病者・予備群の数)

都道府県健康増進計画参酌標準関連表

表	表題	内臓脂肪に着目した生活習慣病の有病者・予備群の数		国民健康栄養調査における集計対象者(全て男女別)
		指標	定義	
1	BMIと腹囲計測による肥満者の状況	肥満者の推定数(成人)(*)	国民健康・栄養調査における方法により身長測定、体重測定を行い、次の3項目に該当する者の割合をそれぞれ求める。 ①BMI25以上で腹囲男性85cm以上、女性90cm以上 ②BMIのみ25以上 ③腹囲のみ基準値以上(男性85cm以上、女性90cm以上)	BMI、腹囲計測がそろっている者(妊婦除外)
2	BMIによる肥満者の状況			
3	腹囲計測による肥満者の状況			
4	メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)予備群・該当者の状況	メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)予備群・該当者の推定数(*)	ウエスト周囲径[男性85cm以上、女性90cm以上]かつ、次の3項目のうち1つ該当する者(予備群)及び2つ該当する者(該当者)(いずれも40～74歳)。 ①中性脂肪150mg/dl以上、または、HDLコレステロール40mg/dl未満、若しくはコレステロールを下げる薬服用※1 ②収縮期血圧130mmHg以上かつ/または拡張期血圧85mmHg以上、若しくは血圧を下げる薬服用 ③空腹時血糖110mg/dl以上またはHbA1c5.5%以上、若しくはインスリン注射または血糖を下げる薬服用※2	腹囲計測、BMI、HDLコレステロール、HbA1c、血圧、服薬状況(コレステロールを下げる薬、インスリン注射または血糖値を下げる薬、血圧を下げる薬)の状況がそろっている者(妊婦除外)
5	糖尿病予備群・有病者の状況	糖尿病予備群・有病者の推定数(*)	予備群: 空腹時血糖110mg/dl以上126mg/dl未満又はHbA1c 5.5以上6.1未満の者。但し、インスリン使用・血糖を下げる薬の服用者を除く(40～74歳)。※2 有病者: 空腹時血糖126mg/dl以上またはHbA1c6.1%以上であるか、インスリン注射または血糖を下げる薬を服用している者(40～74歳)。	HbA1c及び、服薬(インスリン注射または血糖を下げる薬)状況がそろっている者
6	高血圧症予備群・有病者の状況	高血圧症予備群・有病者の推定数(*)	予備群: ①収縮期血圧が130mmHg以上140mmHg未満かつ拡張期血圧が90mmHg未満である者 ②収縮期血圧が140mmHg未満かつ拡張期血圧が85mmHg以上90mmHg未満である者。ただし、血圧を下げる薬の服用者を除く(40～74歳)。 有病者: 収縮期血圧が140mmHg以上、または拡張期血圧90mmHg以上の者、若しくは血圧を下げる薬服用者(40～74歳)。	血圧、服薬状況(血圧を下げる薬)の状況がそろっている者
7	脂質異常者(高脂血症有病者)の状況	脂質異常者(高脂血症有病者)の推定数(*)	中性脂肪150mg/dl以上、またはHDLコレステロールが40mg/dl未満、または、LDL140mg/dl以上、若しくはコレステロールを下げる薬を服用している者(40～74歳)。※3	HDLコレステロール、服薬状況(コレステロールを下げる薬)の状況がそろっている者

※1:都道府県健康・栄養調査など、空腹時における採血が徹底できていない場合には、中性脂肪を用いない。

※2:空腹時血糖とHbA1cの両者を測定している場合には、空腹時血糖を用いる。

※3:LDLコレステロールを測定していない場合には、総コレステロールを用いる。

(\*)の指標の目標値設定、評価に際しては、性・年齢調整を行うことが必要。

表1 BMIと腹囲計測による肥満の状況(40歳以上)

平成16年		総数		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70歳以上		(再掲)40-74歳	
		実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
男性	BMI25未満かつ腹囲85cm未満	569	42.1	87	45.8	137	43.6	168	38.4	177	43.2	462	41.0
	BMI25以上かつ腹囲85cm未満	16	1.2	2	1.1	4	1.3	8	1.8	2	0.5	16	1.4
	BMI25未満かつ腹囲85cm以上	351	26.0	38	20.0	65	20.7	131	30.0	117	28.5	287	25.4
	BMI25以上かつ腹囲85cm以上	415	30.7	63	33.2	108	34.4	130	29.7	114	27.8	363	32.2
	総数	1351	100.0	190	100.0	314	100.0	437	100.0	410	100.0	1128	100.0
女性	BMI25未満かつ腹囲90cm未満	1306	67.0	281	77.4	363	70.5	352	62.1	310	61.5	1132	67.8
	BMI25以上かつ腹囲90cm未満	189	9.7	28	7.7	61	11.8	61	10.8	39	7.7	165	9.9
	BMI25未満かつ腹囲90cm以上	115	5.9	9	2.5	20	3.9	39	6.9	47	9.3	91	5.4
	BMI25以上かつ腹囲90cm以上	339	17.4	45	12.4	71	13.8	115	20.3	108	21.4	282	16.9
	総数	1949	100.0	363	100.0	515	100.0	567	100.0	504	100.0	1670	100.0

平成17年		総数		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70歳以上		(再掲)40-74歳	
		実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
男性	BMI25未満かつ腹囲85cm未満	580	42.8	87	47.5	125	43.7	161	38.7	207	43.9	470	42.0
	BMI25以上かつ腹囲85cm未満	24	1.8	5	2.7	5	1.7	11	2.6	3	0.6	24	2.1
	BMI25未満かつ腹囲85cm以上	341	25.1	29	15.8	61	21.3	117	28.1	134	28.5	267	23.9
	BMI25以上かつ腹囲85cm以上	411	30.3	62	33.9	95	33.2	127	30.5	127	27.0	358	32.0
	総数	1356	100.0	183	100.0	286	100.0	416	100.0	471	100.0	1119	100.0
女性	BMI25未満かつ腹囲90cm未満	1306	66.9	272	78.6	344	73.2	349	62.1	341	59.4	1102	68.4
	BMI25以上かつ腹囲90cm未満	175	9.0	40	11.6	44	9.4	47	8.4	44	7.7	148	9.2
	BMI25未満かつ腹囲90cm以上	126	6.5	7	2.0	13	2.8	41	7.3	65	11.3	91	5.6
	BMI25以上かつ腹囲90cm以上	345	17.7	27	7.8	69	14.7	125	22.2	124	21.6	270	16.8
	総数	1952	100.0	346	100.0	470	100.0	562	100.0	574	100.0	1611	100.0

平成18年		総数		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70歳以上		(再掲)40-74歳	
		実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
男性	BMI25未満かつ腹囲85cm未満	851	41.8	163	42.2	237	42.9	191	38.1	260	43.7	691	40.6
	BMI25以上かつ腹囲85cm未満	49	2.4	13	3.4	13	2.4	20	4.0	3	0.5	48	2.8
	BMI25未満かつ腹囲85cm以上	558	27.4	94	24.4	133	24.1	141	28.1	190	31.9	450	26.4
	BMI25以上かつ腹囲85cm以上	577	28.4	116	30.1	170	30.7	149	29.7	142	23.9	515	30.2
	総数	2035	100.0	386	100.0	553	100.0	501	100.0	595	100.0	1704	100.0
女性	BMI25未満かつ腹囲90cm未満	1764	69.2	390	81.9	486	72.0	422	65.1	466	62.1	1473	70.5
	BMI25以上かつ腹囲90cm未満	224	8.8	47	9.9	58	8.6	57	8.8	62	8.3	187	9.0
	BMI25未満かつ腹囲90cm以上	157	6.2	8	1.7	18	2.7	50	7.7	81	10.8	103	4.9
	BMI25以上かつ腹囲90cm以上	404	15.8	31	6.5	113	16.7	119	18.4	141	18.8	326	15.6
	総数	2549	100.0	476	100.0	675	100.0	648	100.0	750	100.0	2089	100.0

(参考)内臓脂肪型肥満の診断基準:  
 ・BMI25以上で、男性のウエスト周囲径85cm以上、  
 女性のウエスト周囲径90cm以上を上半身肥満の疑いとする。  
 ・上半身肥満の疑いと判定され、腹部CT法による内臓脂肪面積100cm<sup>2</sup>以上(男女とも)を内臓脂肪型肥満と診断する。  
 (日本肥満学会肥満症診断基準検討委員会、2000年)

※国民健康・栄養調査の「腹囲」は、「立位のへその高さ」で計測したが、ウエスト周囲径と計測位置は同じである。

表2 BMIによる肥満者の状況(40歳以上)

平成16年		総数		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70歳以上		(再掲)40-74歳	
		実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
総数	BMI25以上	959	29.1	138	25.0	244	29.4	314	31.3	263	28.8	826	29.5
	BMI25未満	2341	70.9	415	75.0	585	70.6	690	68.7	651	71.2	1972	70.5
	総数	3300	100.0	553	100.0	829	100.0	1004	100.0	914	100.0	2798	100.0
男性	BMI25以上	431	31.9	65	34.2	112	35.7	138	31.6	116	28.3	379	33.6
	BMI25未満	920	68.1	125	65.8	202	64.3	299	68.4	294	71.7	749	66.4
	総数	1351	100.0	190	100.0	314	100.0	437	100.0	410	100.0	1128	100.0
女性	BMI25以上	528	27.1	73	20.1	132	25.6	176	31.0	147	29.2	447	26.8
	BMI25未満	1421	72.9	290	79.9	383	74.4	391	69.0	357	70.8	1223	73.2
	総数	1949	100.0	363	100.0	515	100.0	567	100.0	504	100.0	1670	100.0

平成17年		総数		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70歳以上		(再掲)40-74歳	
		実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
総数	BMI25以上	955	28.9	134	25.3	213	28.2	310	31.7	298	28.5	800	29.3
	BMI25未満	2353	71.1	395	74.7	543	71.8	668	68.3	747	71.5	1930	70.7
	総数	3308	100.0	529	100.0	756	100.0	978	100.0	1045	100.0	2730	100.0
男性	BMI25以上	435	32.1	67	36.6	100	35.0	138	33.2	130	27.6	382	34.1
	BMI25未満	921	67.9	116	63.4	186	65.0	278	66.8	341	72.4	737	65.9
	総数	1356	100.0	183	100.0	286	100.0	416	100.0	471	100.0	1119	100.0
女性	BMI25以上	520	26.6	67	19.4	113	24.0	172	30.6	168	29.3	418	25.9
	BMI25未満	1432	73.4	279	80.6	357	76.0	390	69.4	406	70.7	1193	74.1
	総数	1952	100.0	346	100.0	470	100.0	562	100.0	574	100.0	1611	100.0

平成18年		総数		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70歳以上		(再掲)40-74歳	
		実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
総数	BMI25以上	1254	27.4	207	24.0	354	28.8	345	30.0	348	25.9	1076	28.4
	BMI25未満	3330	72.6	655	76.0	874	71.2	804	70.0	997	74.1	2717	71.6
	総数	4584	100.0	862	100.0	1228	100.0	1149	100.0	1345	100.0	3793	100.0
男性	BMI25以上	626	30.8	129	33.4	183	33.1	169	33.7	145	24.4	563	33.0
	BMI25未満	1409	69.2	257	66.6	370	66.9	332	66.3	450	75.6	1141	67.0
	総数	2035	100.0	386	100.0	553	100.0	501	100.0	595	100.0	1704	100.0
女性	BMI25以上	628	24.6	78	16.4	171	25.3	176	27.2	203	27.1	513	24.6
	BMI25未満	1921	75.4	398	83.6	504	74.7	472	72.8	547	72.9	1576	75.4
	総数	2549	100.0	476	100.0	675	100.0	648	100.0	750	100.0	2089	100.0

肥満度: BMI (Body Mass Index) を用いて判定

$BMI = \text{体重}[\text{kg}] / (\text{身長}[\text{m}])^2$  により算出

BMI < 18.5 低体重 (やせ)

18.5 ≤ BMI < 25 普通体重 (正常)

BMI ≥ 25 肥満

(日本肥満学会肥満症診断基準検討委員会, 2000年)

表3 腹囲計測による肥満者の状況(40歳以上)

平成16年		総数		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70歳以上		(再掲)40-74歳	
		実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
男性	腹囲85cm以上	766	56.7	101	53.2	173	55.1	261	59.7	231	56.3	650	57.6
	腹囲85cm未満	585	43.3	89	46.8	141	44.9	176	40.3	179	43.7	478	42.4
	総数	1351	100.0	190	100.0	314	100.0	437	100.0	410	100.0	1128	100.0
女性	腹囲90cm以上	454	23.3	54	14.9	91	17.7	154	27.2	155	30.8	373	22.3
	腹囲90cm未満	1495	76.7	309	85.1	424	82.3	413	72.8	349	69.2	1297	77.7
	総数	1949	100.0	363	100.0	515	100.0	567	100.0	504	100.0	1670	100.0

平成17年		総数		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70歳以上		(再掲)40-74歳	
		実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
男性	腹囲85cm以上	752	55.5	91	49.7	156	54.5	244	58.7	261	55.4	625	55.9
	腹囲85cm未満	604	44.5	92	50.3	130	45.5	172	41.3	210	44.6	494	44.1
	総数	1356	100.0	183	100.0	286	100.0	416	100.0	471	100.0	1119	100.0
女性	腹囲90cm以上	471	24.1	34	9.8	82	17.4	166	29.5	189	32.9	361	22.4
	腹囲90cm未満	1481	75.9	312	90.2	388	82.6	396	70.5	385	67.1	1250	77.6
	総数	1952	100.0	346	100.0	470	100.0	562	100.0	574	100.0	1611	100.0

平成18年		総数		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70歳以上		(再掲)40-74歳	
		実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
男性	腹囲85cm以上	1135	55.8	210	54.4	303	54.8	290	57.9	332	55.8	965	56.6
	腹囲85cm未満	900	44.2	176	45.6	250	45.2	211	42.1	263	44.2	739	43.4
	総数	2035	100.0	386	100.0	553	100.0	501	100.0	595	100.0	1704	100.0
女性	腹囲90cm以上	561	22.0	39	8.2	131	19.4	169	26.1	222	29.6	429	20.5
	腹囲90cm未満	1988	78.0	437	91.8	544	80.6	479	73.9	528	70.4	1660	79.5
	総数	2549	100.0	476	100.0	675	100.0	648	100.0	750	100.0	2089	100.0

(参考)内臓脂肪型肥満の診断基準:

- ・BMI25以上で、男性のウエスト周囲径85cm以上、  
女性のウエスト周囲径90cm以上を上半身肥満の疑いとする。
- ・上半身肥満の疑いと判定され、腹部CT法による内臓脂肪面積100cm<sup>2</sup>以上(男女とも)を内臓脂肪型肥満と診断する。  
(日本肥満学会肥満症診断基準検討委員会、2000年)

※国民健康・栄養調査の「腹囲」は、「立位のへその高さ」で計測したが、ウエスト周囲径と計測位置は同じである。

表4 メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)予備群・該当者の状況(40歳以上)

平成16年		総数		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70歳以上		(再掲)40-74歳	
		実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
男 性	該当者	333	26.7	28	16.5	61	21.8	109	27.0	135	34.4	272	25.9
	予備群	310	24.9	44	25.9	78	27.9	106	26.3	82	20.9	274	26.0
	上記以外	602	48.4	98	57.6	141	50.4	188	46.7	175	44.6	506	48.1
	総数	1245	100.0	170	100.0	280	100.0	403	100.0	392	100.0	1052	100.0
女 性	該当者	204	11.2	13	3.7	30	6.2	73	14.0	88	18.8	160	10.1
	予備群	174	9.5	30	8.6	37	7.6	53	10.1	54	11.5	151	9.6
	上記以外	1445	79.3	304	87.6	418	86.2	397	75.9	326	69.7	1268	80.3
	総数	1823	100.0	347	100.0	485	100.0	523	100.0	468	100.0	1579	100.0

平成17年		総数		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70歳以上		(再掲)40-74歳	
		実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
男 性	該当者	330	26.0	23	13.3	59	23.0	115	29.3	133	29.7	267	25.5
	予備群	316	24.9	40	23.1	72	28.0	97	24.7	107	23.9	262	25.0
	上記以外	625	49.2	110	63.6	126	49.0	181	46.1	208	46.4	517	49.4
	総数	1271	100.0	173	100.0	257	100.0	393	100.0	448	100.0	1046	100.0
女 性	該当者	222	12.0	10	3.1	27	6.0	80	15.1	105	19.3	158	10.3
	予備群	183	9.9	16	4.9	41	9.1	62	11.7	64	11.8	146	9.5
	上記以外	1444	78.1	301	92.0	381	84.9	387	73.2	375	68.9	1225	80.1
	総数	1849	100.0	327	100.0	449	100.0	529	100.0	544	100.0	1529	100.0

平成18年		総数		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70歳以上		(再掲)40-74歳	
		実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
男 性	該当者	355	25.1	29	13.9	88	25.1	103	26.5	135	28.7	282	24.4
	予備群	368	25.8	53	25.5	95	27.1	107	27.5	111	23.6	312	27.0
	上記以外	696	49.1	126	60.6	167	47.7	179	46.0	224	47.7	560	48.5
	総数	1417	100.0	208	100.0	350	100.0	389	100.0	470	100.0	1154	100.0
女 性	該当者	265	13.4	11	3.1	44	8.4	86	16.4	124	21.5	198	12.1
	予備群	167	8.4	8	2.2	59	11.3	51	9.7	49	8.5	135	8.2
	上記以外	1549	78.2	340	94.7	418	80.2	387	73.9	404	70.0	1305	79.7
	総数	1981	100.0	359	100.0	521	100.0	524	100.0	577	100.0	1638	100.0

▼メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の疑いの判定▼

国民健康・栄養調査の血液検査では、空腹時採血が困難であるため、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の診断基準項目である空腹時血糖値及び中性脂肪値による判定は行わない。したがって、本報告における判定は以下の通りとした。

- ・該当者(メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)が強く疑われる者)  
 腹囲が男性85cm、女性90cm以上で、3つの項目(血中脂質、血圧、血糖)のうち2つ以上の項目に該当する者。  
 ※「項目に該当する」とは、下記の「基準」を満たしている場合、かつ/または「服薬」がある場合とする。

- ・予備群(メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の予備群と考えられる者)  
 腹囲が男性85cm、女性90cm以上で、3つの項目(血中脂質、血圧、血糖)のうち1つに該当する者。

腹 囲(ウエスト周囲径)	男性: 85cm以上	女性: 90cm以上
--------------	------------	------------

項目	血中脂質	血 圧	血 糖
基 準	・HDLコレステロール値 40mg/dl未満	・収縮期血圧が130mmHg以上 ・拡張期血圧が90mmHg未満である者	・HbA1c値 5.5%以上
服 薬	・コレステロールを下げる薬服用	・血圧を下げる薬服用	・血糖を下げる薬服用 ・インスリン注射使用

(参考:厚生労働科学研究 健康科学総合研究事業「地域保健における健康診査の効率的なプロトコールに関する研究～健康対策指標検討研究班中間報告～平成17年8月)

注)老人保健事業の健康診査では、ヘモグロビンA1c値 5.5%以上を「要指導」としているため、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の疑いに関する判定項目である血糖を“ヘモグロビンA1c値5.5%”とした。

表5 糖尿病予備群・有病者の状況(40歳以上)

	平成16年	総数		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70歳以上		(再掲)40-74歳	
		実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
総数	有病者	323	10.5	22	4.3	67	8.7	115	12.4	119	13.8	263	10.1
	(うち服薬者)※	(156)	(5.1)	(7)	(1.4)	(27)	(3.5)	(54)	(5.8)	(68)	(7.9)	(119)	(4.6)
	予備群	633	20.6	65	12.5	154	20.1	195	21.0	219	25.4	504	19.3
	上記以外	2122	68.9	431	83.2	547	71.2	619	66.6	525	60.8	1842	70.6
	総数	3078	100.0	518	100.0	768	100.0	929	100.0	863	100.0	2609	100.0
男性	有病者	171	13.7	10	5.9	39	13.8	54	13.4	68	17.3	143	13.8
	(うち服薬者)※	(90)	(7.2)	(4)	(2.4)	(18)	(6.4)	(31)	(7.7)	(37)	(9.4)	(74)	(7.1)
	予備群	241	19.3	19	11.2	47	16.7	84	20.8	91	23.1	188	18.1
	上記以外	838	67.0	141	82.9	196	69.5	266	65.8	235	59.6	706	68.1
	総数	1250	100.0	170	100.0	282	100.0	404	100.0	394	100.0	1037	100.0
女性	有病者	152	8.4	12	3.5	28	5.8	61	11.7	51	10.9	120	7.6
	(うち服薬者)※	(66)	(3.6)	(3)	(0.9)	(9)	(1.9)	(23)	(4.4)	(31)	(6.6)	(45)	(2.9)
	予備群	392	21.4	46	13.2	107	22.0	111	21.1	128	27.3	316	20.1
	上記以外	1284	70.2	290	83.3	351	72.2	353	67.2	290	61.8	1136	72.3
	総数	1828	100.0	348	100.0	486	100.0	525	100.0	469	100.0	1572	100.0

	平成17年	総数		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70歳以上		(再掲)40-74歳	
		実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
総数	有病者	372	11.9	16	3.1	59	8.4	153	16.5	144	14.4	297	11.5
	(うち服薬者)※	(182)	(5.8)	(5)	(1.0)	(27)	(3.8)	(77)	(8.3)	(73)	(7.3)	(145)	(5.6)
	予備群	587	18.7	58	11.6	120	16.9	178	19.2	231	23.2	467	18.1
	上記以外	2175	69.4	428	85.3	529	74.7	596	64.3	622	62.4	1821	70.4
	総数	3134	100.0	502	100.0	708	100.0	927	100.0	997	100.0	2585	100.0
男性	有病者	198	15.5	7	4.0	30	11.7	84	21.2	77	17.1	162	15.4
	(うち服薬者)※	(102)	(8.0)	(2)	(1.2)	(13)	(5.1)	(48)	(12.2)	(39)	(8.7)	(86)	(8.2)
	予備群	232	18.2	14	8.1	44	17.1	65	16.5	109	24.2	180	17.2
	上記以外	845	66.3	152	87.9	183	71.2	246	62.3	264	58.7	706	67.4
	総数	1275	100.0	173	100.0	257	100.0	395	100.0	450	100.0	1048	100.0
女性	有病者	174	9.4	9	2.7	29	6.4	69	13.0	67	12.3	135	8.8
	(うち服薬者)※	(80)	(4.3)	(3)	(0.9)	(14)	(3.1)	(29)	(5.5)	(34)	(6.2)	(59)	(3.8)
	予備群	355	19.1	44	13.4	76	16.9	113	21.2	122	22.3	287	18.7
	上記以外	1330	71.5	276	83.9	346	76.7	350	65.8	358	65.4	1115	72.5
	総数	1859	100.0	329	100.0	451	100.0	532	100.0	547	100.0	1537	100.0

	平成18年	総数		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70歳以上		(再掲)40-74歳	
		実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
総数	有病者	404	11.9	16	2.8	83	9.5	125	13.7	180	17.1	309	11.0
	(うち服薬者)※	(208)	(6.1)	(4)	(0.7)	(31)	(3.6)	(66)	(7.2)	(107)	(10.2)	(154)	(5.5)
	予備群	730	21.4	82	14.4	171	19.6	211	23.1	266	25.3	581	20.8
	上記以外	2274	66.7	472	82.8	619	70.9	578	63.2	605	57.6	1908	68.2
	総数	3408	100.0	570	100.0	873	100.0	914	100.0	1051	100.0	2798	100.0
男性	有病者	207	14.6	9	4.3	44	12.6	57	14.6	97	20.6	160	13.8
	(うち服薬者)※	(109)	(7.7)	(4)	(1.9)	(19)	(5.4)	(29)	(7.4)	(57)	(12.1)	(82)	(7.1)
	予備群	267	18.8	23	11.1	68	19.4	80	20.5	96	20.4	212	18.4
	上記以外	945	66.6	176	84.6	238	68.0	253	64.9	278	59.0	783	67.8
	総数	1419	100.0	208	100.0	350	100.0	390	100.0	471	100.0	1155	100.0
女性	有病者	197	9.9	7	1.9	39	7.5	68	13.0	83	14.3	149	9.0
	(うち服薬者)※	(99)	(5.0)	(0)	(0)	(12)	(2.3)	(37)	(7.1)	(50)	(8.6)	(72)	(4.4)
	予備群	463	23.3	59	16.3	103	19.7	131	25.0	170	29.3	369	22.5
	上記以外	1329	66.8	296	81.8	381	72.8	325	62.0	327	56.4	1125	68.5
	総数	1989	100.0	362	100.0	523	100.0	524	100.0	580	100.0	1643	100.0

▼"糖尿病予備群・有病者"の判定▼

国民健康・栄養調査の血液検査では、空腹時採血が困難であるため、糖尿病の診断基準項目である空腹時血糖値及びHbA1cによる判定は行わない。したがって、本報告における判定は以下の通りとした。

・糖尿病有病者

HbA1c6.1%以上の者、またはインスリン注射または血糖を下げる薬を服用している者。

※有病者のうち服薬者とは、インスリン注射または血糖を下げる薬を服用している者とし、総数に占める比率を示した。

・糖尿病予備群

HbA1c5.5%以上6.1%未満の者。ただし、インスリン使用・血糖を下げる薬の服用者を除く。

表6 高血圧症予備群・有病者の状況(40歳以上)

	平成16年	総数		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70歳以上		(再掲)40-74歳	
		実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
総数	有病者	1785	54.8	155	29.0	359	43.7	598	60.6	673	73.7	1396	50.7
	(うち服薬者)※	(864)	(26.5)	(28)	(5.2)	(113)	(13.8)	(292)	(29.6)	(431)	(47.2)	(601)	(21.8)
	予備群	485	14.9	86	16.1	150	18.3	150	15.2	99	10.8	438	15.9
	上記以外	985	30.3	294	55.0	312	38.0	238	24.1	141	15.4	917	33.3
	総数	3255	100.0	535	100.0	821	100.0	986	100.0	913	100.0	2751	100.0
男性	有病者	824	62.3	76	42.7	161	53.1	288	67.3	299	72.4	658	59.9
	(うち服薬者)※	(368)	(27.8)	(15)	(8.4)	(48)	(15.8)	(126)	(29.4)	(179)	(43.3)	(265)	(24.2)
	予備群	199	15.1	33	18.5	54	17.8	61	14.3	51	12.3	171	15.6
	上記以外	299	22.6	69	38.8	88	29.0	79	18.5	63	15.3	268	24.5
	総数	1322	100.0	178	100.0	303	100.0	428	100.0	413	100.0	1095	100.0
女性	有病者	961	49.7	79	22.1	198	38.2	310	55.6	374	74.8	740	44.7
	(うち服薬者)※	(496)	(25.7)	(13)	(3.6)	(65)	(12.5)	(166)	(29.7)	(252)	(50.4)	(336)	(20.3)
	予備群	286	14.8	53	14.8	96	18.5	89	15.9	48	9.6	267	16.1
	上記以外	686	35.5	225	63.0	224	43.2	159	28.5	78	15.6	649	39.2
	総数	1933	100.0	357	100.0	518	100.0	558	100.0	500	100.0	1656	100.0

	平成17年	総数		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70歳以上		(再掲)40-74歳	
		実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
総数	有病者	1799	54.9	134	25.6	302	40.8	571	58.6	792	76.1	1351	50.0
	(うち服薬者)※	(924)	(28.2)	(28)	(5.4)	(109)	(14.7)	(307)	(31.5)	(480)	(46.1)	(628)	(23.3)
	予備群	509	15.5	89	17.0	141	19.0	159	16.3	120	11.5	444	16.4
	上記以外	971	29.6	300	57.4	298	40.2	244	25.1	129	12.4	906	33.5
	総数	3279	100.0	523	100.0	741	100.0	974	100.0	1041	100.0	2701	100.0
男性	有病者	801	59.8	66	36.5	119	43.1	257	61.9	359	76.9	618	56.0
	(うち服薬者)※	(411)	(30.7)	(16)	(8.8)	(45)	(16.3)	(138)	(33.3)	(212)	(45.4)	(294)	(26.6)
	予備群	227	17.0	38	21.0	64	23.2	66	15.9	59	12.6	197	17.8
	上記以外	311	23.2	77	42.5	93	33.7	92	22.2	49	10.5	289	26.2
	総数	1339	100.0	181	100.0	276	100.0	415	100.0	467	100.0	1104	100.0
女性	有病者	998	51.4	68	19.9	183	39.4	314	56.2	433	75.4	733	45.9
	(うち服薬者)※	(513)	(26.4)	(12)	(3.5)	(64)	(13.8)	(169)	(30.2)	(268)	(46.7)	(334)	(20.9)
	予備群	282	14.5	51	14.9	77	16.6	93	16.6	61	10.6	247	15.5
	上記以外	660	34.0	223	65.2	205	44.1	152	27.2	80	13.9	617	38.6
	総数	1940	100.0	342	100.0	465	100.0	559	100.0	574	100.0	1597	100.0

	平成18年	総数		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70歳以上		(再掲)40-74歳	
		実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
総数	有病者	1981	54.9	129	21.8	428	47.2	597	61.4	827	72.7	1466	49.9
	(うち服薬者)※	(1013)	(28.1)	(22)	(3.7)	(154)	(17.0)	(300)	(30.9)	(537)	(47.2)	(674)	(22.9)
	予備群	569	15.8	111	18.7	165	18.2	155	15.9	138	12.1	499	17.0
	上記以外	1058	29.3	353	59.5	313	34.5	220	22.6	172	15.1	975	33.2
	総数	3608	100.0	593	100.0	906	100.0	972	100.0	1137	100.0	2940	100.0
男性	有病者	928	62.1	75	34.9	216	59.5	274	66.7	363	71.7	714	59.0
	(うち服薬者)※	(452)	(30.2)	(13)	(6.0)	(77)	(21.2)	(130)	(31.6)	(232)	(45.8)	(313)	(25.9)
	予備群	223	14.9	42	19.5	60	16.5	58	14.1	63	12.5	191	15.8
	上記以外	344	23.0	98	45.6	87	24.0	79	19.2	80	15.8	305	25.2
	総数	1495	100.0	215	100.0	363	100.0	411	100.0	506	100.0	1210	100.0
女性	有病者	1053	49.8	54	14.3	212	39.0	323	57.6	464	73.5	752	43.5
	(うち服薬者)※	(561)	(26.5)	(9)	(2.4)	(77)	(14.2)	(170)	(30.3)	(305)	(48.3)	(361)	(20.9)
	予備群	346	16.4	69	18.3	105	19.3	97	17.3	75	11.9	308	17.8
	上記以外	714	33.8	255	67.5	226	41.6	141	25.1	92	14.6	670	38.7
	総数	2113	100.0	378	100.0	543	100.0	561	100.0	631	100.0	1730	100.0

▼“高血圧症予備群・有病者”の判定▼

・高血圧症有病者

収縮期血圧140mmHg以上、または拡張期血圧90mmHg以上、または血圧を下げる薬を服用している者。

※有病者のうち服薬者とは、血圧を下げる薬を服用している者とし、総数に占める比率を示した。

・高血圧症予備群

収縮期血圧が130mmHg以上140mmHg未満で、かつ拡張期血圧が90mmHg未満の者または、収縮期血圧が140mmHg未満で、かつ拡張期血圧が85mmHg以上90mmHg未満の者。(ただし、薬を服用していない者)

表7 脂質異常者(高脂血症有病者)の状況(40歳以上)

平成16年		総数		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70歳以上		(再掲)40-74歳	
		実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
総数	有病者	576	18.6	39	7.5	88	11.4	202	21.6	247	28.6	435	16.6
	上記以外	2514	81.4	479	92.5	684	88.6	734	78.4	617	71.4	2186	83.4
	総数	3090	100.0	518	100.0	772	100.0	936	100.0	864	100.0	2621	100.0
男性	有病者	277	22.1	27	15.9	46	16.2	92	22.7	112	28.4	215	20.7
	上記以外	976	77.9	143	84.1	238	83.8	313	77.3	282	71.6	825	79.3
	総数	1253	100.0	170	100.0	284	100.0	405	100.0	394	100.0	1040	100.0
女性	有病者	299	16.3	12	3.4	42	8.6	110	20.7	135	28.7	220	13.9
	上記以外	1538	83.7	336	96.6	446	91.4	421	79.3	335	71.3	1361	86.1
	総数	1837	100.0	348	100.0	488	100.0	531	100.0	470	100.0	1581	100.0

平成17年		総数		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70歳以上		(再掲)40-74歳	
		実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
総数	有病者	636	20.3	38	7.6	89	12.6	231	24.9	278	27.9	478	18.5
	上記以外	2500	79.7	464	92.4	619	87.4	698	75.1	719	72.1	2109	81.5
	総数	3136	100.0	502	100.0	708	100.0	929	100.0	997	100.0	2587	100.0
男性	有病者	266	20.8	30	17.2	44	17.1	89	22.5	103	22.8	220	21.0
	上記以外	1011	79.2	144	82.8	213	82.9	306	77.5	348	77.2	830	79.0
	総数	1277	100.0	174	100.0	257	100.0	395	100.0	451	100.0	1050	100.0
女性	有病者	370	19.9	8	2.4	45	10.0	142	26.6	175	32.1	258	16.8
	上記以外	1489	80.1	320	97.6	406	90.0	392	73.4	371	67.9	1279	83.2
	総数	1859	100.0	328	100.0	451	100.0	534	100.0	546	100.0	1537	100.0

平成18年		総数		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70歳以上		(再掲)40-74歳	
		実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
総数	有病者	652	19.0	39	6.8	143	16.3	201	21.9	269	25.4	499	17.8
	上記以外	2771	81.0	532	93.2	732	83.7	718	78.1	789	74.6	2312	82.2
	総数	3423	100.0	571	100.0	875	100.0	919	100.0	1058	100.0	2811	100.0
男性	有病者	274	19.2	25	12.0	65	18.5	80	20.5	104	21.8	216	18.6
	上記以外	1153	80.8	184	88.0	286	81.5	311	79.5	372	78.2	946	81.4
	総数	1427	100.0	209	100.0	351	100.0	391	100.0	476	100.0	1162	100.0
女性	有病者	378	18.9	14	3.9	78	14.9	121	22.9	165	28.4	283	17.2
	上記以外	1618	81.1	348	96.1	446	85.1	407	77.1	417	71.6	1366	82.8
	総数	1996	100.0	362	100.0	524	100.0	528	100.0	582	100.0	1649	100.0

▼"脂質異常者(高脂血症有病者)"の判定▼

国民健康・栄養調査の血液検査では、空腹時採血が困難であるため、脂質異常症(高脂血症)の診断基準項目である中性脂肪による判定は行わない。したがって、本報告における判定は以下の通りとした。

・有病者

HDLコレステロールが40mg/dl未満、若しくはコレステロールを下げる薬を服用している者。